



Quality and reliability is our tradition

KYORITSU

KEW Thermo Analysis

ユーザーマニュアル

本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、弊社Webサイト(www.kew-ltd.co.jp)でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 注意	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

目次

チャプター1 概要.....	7
1.1 概要.....	7
1.2 ワークフロー.....	8
1.3 動作環境.....	8
チャプター2 ソフトウェアのインストール.....	9
2.1 ソフトウェアのインストール.....	9
チャプター3 ソフトウェアのアップグレード.....	10
3.1 ソフトウェアのアップグレード.....	10
チャプター4 ソフトウェアのアンインストール.....	11
4.1 ソフトウェアのアンインストールまたは変更.....	11
チャプター5 ユーザーインターフェイス.....	12
5.1 アプリケーションページ.....	12
5.1.1 ライブラリ.....	12
5.1.2 分析.....	12
5.1.3 レポート.....	12
5.1.4 ライブ.....	13
5.2 設定.....	13
5.2.1 言語の切り替え.....	13
5.2.2 温度表示単位の切り替え.....	13
5.2.3 距離表示単位の切り替え.....	13
5.2.4 エリア表示単位の切り替え.....	14
5.3 ソフトウェアバージョンの表示.....	14

チャプター6 ファイル管理.....	15
6.1 ファイル管理ページのナビゲーション.....	15
6.2 「お気に入り」の管理.....	16
6.2.1 「お気に入り」を作成する.....	16
6.2.2 「お気に入り」の場所を変更する.....	16
6.2.3 「お気に入り」の詳細の表示.....	17
6.3 お気に入りの管理.....	17
6.3.1 お気に入りの作成.....	17
6.3.2 お気に入りの名前の変更.....	17
6.3.3 お気に入りの削除.....	17
6.4 インポートファイル.....	18
6.4.1 ファイルのインポートモードの設定.....	19
6.5 ファイル名の変更.....	20
6.6 ファイルの削除.....	20
6.7 ファイルにタグを追加.....	21
6.8 テキスト注釈を追加する.....	22
6.9 ファイルの分類と並べ替え.....	23
6.10 ファイルのフィルタリング.....	23
6.10.1 時間範囲によるファイルのフィルタリング.....	23
6.10.2 タグによるファイルのフィルタリング.....	23
6.10.3 テキスト注釈によるファイルのフィルタリング.....	24
6.10.4 名前によるファイルのフィルタリング.....	24
6.10.5 使用モデルによるファイルのフィルタリング.....	24
6.10.6 アセットIDによるファイルのフィルタリング.....	24

チャプター7 画像とビデオの分析.....	26
7.1 タスクリストにビデオ/画像を追加する.....	26
7.1.1 ビデオ/画像を1つ追加する.....	26
7.1.2 複数のビデオ/画像を追加する.....	26
7.1.3 すべてのビデオ/画像を追加する.....	27
7.2 画像分析.....	28
7.2.1 分析タブ (画像) のナビゲーション.....	28
7.2.2 温度測定ツール.....	29
7.2.3 温度アラームの分析.....	35
7.2.4 温度分布グラフ (画像) を表示する.....	36
7.2.5 画像編集ツール.....	37
7.2.6 レベルとスパン.....	49
7.2.7 画像の保存/エクスポート.....	52
7.2.8 分析の終了.....	54
7.3 レポート.....	55
7.3.1 レポートの作成.....	55
7.3.2 レポートテンプレート.....	57
7.3.3 レポートを編集.....	58
7.3.4 レポートをエクスポート.....	82
7.4 ビデオ分析.....	83
7.5 ライブ分析.....	83
チャプター8 ライブ.....	84
8.1 デバイスを接続.....	84
8.2 「ライブ」タブのナビゲーション.....	85
8.3 温度分布グラフ/時間-温度曲線を表示する.....	87

8.3.1 温度曲線の有効化/無効化.....	88
8.3.2 最高/最低/平均のエクスポート	88
8.4 ライブビュー画像をキャプチャする	89
8.4.1 画像に重ねて表示される情報の設定	89

CHAPTER 1 概要

本ユーザーマニュアルはKEW Thermo Analysisの操作ガイドです。KEW Thermo Analysisの適正な利用と安定性を確保するために、設置と操作の前に、以降の内容を参照し、マニュアルを注意深く読んでください。

1.1 概要

KEW Thermo Analysisは、サーモグラフィカメラによって記録された画像に含まれる温度情報を表示・分析し、レポートを作成する目的で使用されます。放射測定画像とJPEG画像はKEW Thermo Analysisにインポートできます。KEW Thermo Analysisはファイルの分類や画像へのタグの追加など、画像管理機能を提供します。温度測定データの分析プロセスでは、測定の設定、測定パラメータの調整、画像表示モードの設定、配色の設定などの操作が実行できます。画像の分析後に、必要に応じて、測定結果の表示、写真の保存、レポートのエクスポートが実行できます。

1.2 ワークフロー

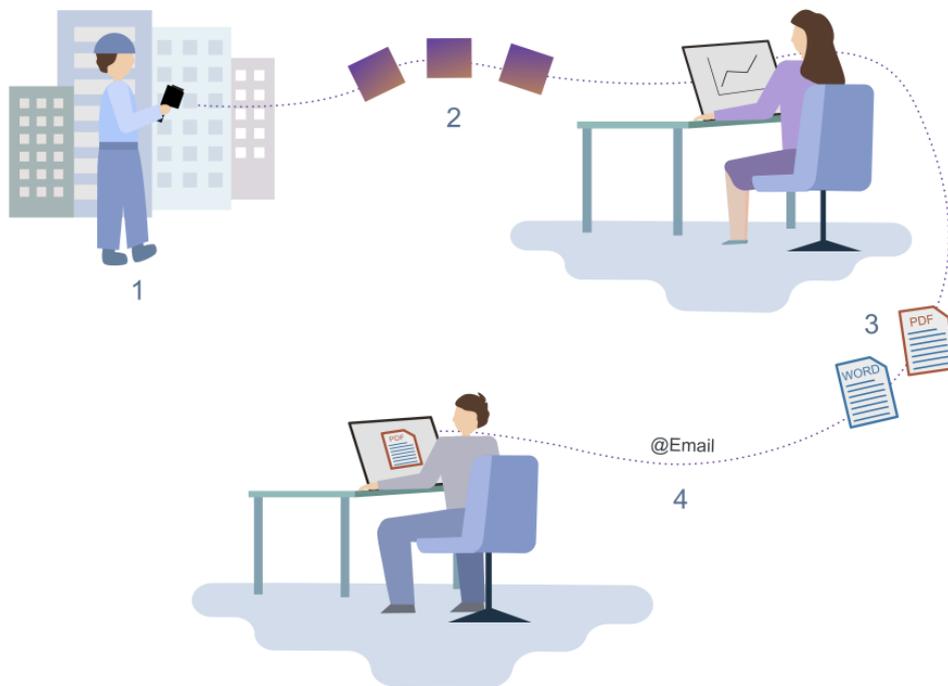


図 1-1 ワークフロー

1. デバイス（サーモグラフィカメラ）を使用してサーマル画像を撮影します。
2. KEW Thermo Analysisに画像をインポートします。
3. PDFまたはODT形式でサーモグラフィレポートを作成し、編集します。
4. 電子メールで、レポートを、他の人々に送信します。

1.3 動作環境

以下に、KEW Thermo Analysisをインストールする際の推奨動作環境を示しました。

- オペレーティング システム
 - Windows 11
 - Windowsサーバー（64ビットオペレーティングシステム）
- CPU：i5-4590またはそれ以上
- RAM：4Gまたはそれ以上
- グラフィックスカード：RADEON X 700シリーズ256Mまたはそれ以上

チャプター2 ソフトウェアのインストール

2.1 ソフトウェアのインストール

事前に、弊社HPにて最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

ソフトウェアインストールパッケージを開き、 をダブルクリックしてセットアップを実行し、ポップアップウィンドウで、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックします。要件に応じて、**ワンクリックインストール**または**カスタマイズ**を選択します。

ワンクリックインストール

デフォルトでは、ソフトウェアは、次の場所にインストールされます：C:\¥プログラムファイル。

インストールのカスタマイズ

 をクリックしてソフトウェアをインストールする場所を選択します。

インストール後、必要に応じて**デスクトップアイコンの作成**にチェックマークを入れることができます。

チャプター3 ソフトウェアのアップグレード

3.1 ソフトウェアのアップグレード

始める前に

最新バージョンではなく、以前のバージョンがインストールされていることを確認します。
ソフトウェアをアップグレードする前に、ソフトウェアの動作が停止していることを確認してください。

ステップ

1. 事前に、弊社HPにて最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
2. ソフトウェアインストールパッケージを開き、をダブルクリックしてセットアップを実行します。
3. ポップアップウィンドウで**アップグレード**をクリックします。

注意

ソフトウェアは、以前のバージョンと同じインストール先のフォルダで上書きされます。

4. アップグレード後、必要に応じて**デスクトップアイコンの作成**にチェックマークを入れます。

チャプター4 ソフトウェアのアンインストール

4.1 ソフトウェアのアンインストールまたは変更

始める前に

ソフトウェアをアンインストールまたは変更する前に、ソフトウェアの動作が停止していることを確認してください。

ステップ

1. Windowsオペレーティングシステムで、 >> **コントロールパネル** > **手順と機能**をクリックします。
2. **KEW Thermo Analysis**を右クリックして**アンインストール/変更**を選択するか、**KEW Thermo Analysis**をダブルクリックします。
3. ポップアップウィンドウで次を選択します：
 - **アンインストール**。
 - **変更**。アンインストールまたは変更が完了すると、プロンプトがポップアップ表示されます。

チャプター5 ユーザーインターフェイス

この章では、KEW Thermo Analysisでの各機能について説明します。

5.1 アプリケーションページ

KEW Thermo Analysisを起動すると、「ライブラリ」タブが表示されます。上の**ライブラリ**、**分析**、**レポート**、**ライブ**をクリックすると、タブを切り替えることができます。

5.1.1 ライブラリ

上のタブから「**ライブラリ**」を選択します。「お気に入りライブラリ」で**すべてのファイル**をクリックすると、KEW Thermo Analysisにインポートされたファイルがすべて表示されます。ファイルを右クリックして「**フォルダを表示**」をクリックすると、画像保存先のコンピュータのフォルダを早く見つけることができます。作成したお気に入りフォルダをクリックすると、中央ペインに、そのフォルダで分類されている画像が表示されます。

5.1.2 分析

ライブラリから画像ファイルを選択し左側右下の  **分析**をクリックして「分析」タブに移動します。このページで、画像やビデオを編集・分析して、より正確な温度情報を得ることができます。右上の  **画像情報**、 **温度分析**をクリックすると、画像/ビデオ情報の表示、温度パラメータの設定、温度測定結果の確認が行えます。左下の**レポート**をクリックしてテンプレートを選択し、画像のレポートを作成することができます。

5.1.3 レポート

上のタブから「**レポート**」を選択すると、タスクリスト内の画像に関するレポートが作成できます。レポートの作成後に、レポートを編集したり、レポートテンプレートを変更することができます。また、ローカルPCにレポートをエクスポートすることもできます。

5.1.4 ライブ

上のタブから「**ライブ**」を選択すると、サーモグラフィカメラを接続して、ライブビューを開始できます。ライブビューでは、画像をキャプチャしたり、録画保存することができます。

※KEW 5531 / KEW 5532Wでは“ライブ機能”は使用できません。

5.2 設定

設定画面では、表示言語、表示温度単位、距離表示単位を切り替えることができます。

注意

一部の設定では、KEW Thermo Analysisを再起動しなければ変更を有効にすることはできません。

5.2.1 言語の切り替え

右上で  > **言語** をクリックして言語を選択します。

5.2.2 温度表示単位の切り替え

ステップ

1. 右上で  > **測定** をクリックします。
2. 「温度単位」で温度単位を選択します。

5.2.3 距離表示単位の切り替え

ステップ

1. 右上で  > **測定** をクリックします。
2. 「距離単位」で単位を選択します。

5.2.4 エリア表示単位の切り替え

ステップ

1. 右上で  > 測定をクリックします。
2. 「エリア単位」で単位を選択します。

5.3 ソフトウェアバージョンの表示

右上で  > バージョンをクリックすると、KEW Thermo Analysisバージョンが表示されます。

CHAPTER 6 ファイル管理

6.1 ファイル管理ページのナビゲーション

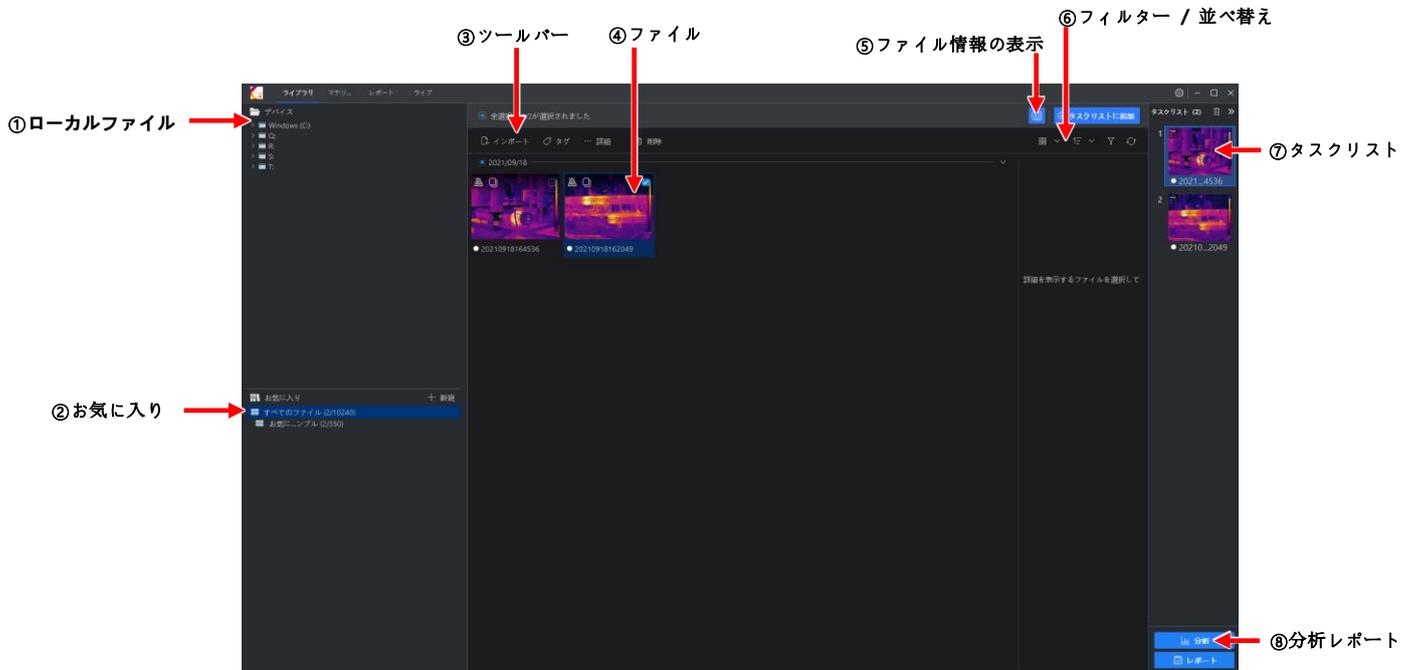


図 6-1 ファイル管理ページ

- ① : ローカルファイル、ローカルPCに保存されている画像を表示し、「お気に入りライブラリ」にインポートできます。
- ② : お気に入り、インポートされた画像とビデオのファイルは、「お気に入りライブラリ」で管理できます。括弧内の数字は、インポートされたファイルの数と、インポートできるファイルの最大数を表します。
- ③ : ツールバー。ファイルのインポート、タグの追加、ファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルの移動などの操作が実行できます。
- ④ : ファイル、「お気に入り」を選択して、インポートされたファイルを表示します。
- ⑤ : ファイル情報を表示します。🖼️ をクリックすると、選択したファイルに関する詳細が表示されます。
- ⑥ : フィルター/並べ替え、条件に基づいてファイルをフィルタリングして、並べ替えることができます。
- ⑦ : タスクリスト。ローカルファイルまたは「お気に入り」の中のファイルをタスクリストに追加して、後でファイルを分析したりレポートを作成することができます。
- ⑧ : 分析/レポート。

6.2 「お気に入り」の管理

「お気に入り」にはKEW Thermo Analysisにインポートされたファイルがすべて表示され、特定のお気に入りフォルダにナビゲートすることができます。ローカルコンピュータまたは接続されたネットワーク共有からインポートされたファイルで、詳細の表示、分類、編集、並べ替え、タグの追加などの操作が実行できます。

6.2.1 「お気に入り」を作成する

インストール後に初めてKEW Thermo Analysisを開く際に、「お気に入り」の保存場所を作成する必要があります。

ポップアップウィンドウで、ファイルの保存先フォルダを選択します。

注意

- Cドライブやデスクトップへの保存はお勧めしません。
- ファイルの保存先フォルダは、空のフォルダである必要があります。
- フォルダの保存場所を表示したり編集できます。詳細については[「お気に入り」の場所を変更する](#)を参照してください。

「お気に入り」を作成すると、自動的に、「お気に入り」にサンプル画像がダウンロードされます。サンプル画像は、素材の管理、素材の分析、レポートの作成などに利用できます。

6.2.2 「お気に入り」の場所を変更する

「お気に入り」のフォルダ保存場所を表示したり編集することができます。

ステップ

1. メニューバーで  をクリックします。
2. **場所**をクリックします。
3. **お気に入り**で  をクリックしてフォルダを選択するか、手動で場所を編集します。
4. **[保存]**をクリックします。

6.2.3 「お気に入り」の詳細の表示

すべてのファイルを右クリックし、**詳細の表示**を選択すると、作成時刻、直近の編集時刻、ライブラリの容量、ライブラリ内の既存ファイルの数といった基本情報が表示されます。

6.3 お気に入りの管理

使用シナリオに応じて異なるお気に入りを作成して名前を付け、お気に入りにファイルをインポートすることができます。

ライブラリ>お気に入り>すべてのファイルと移動すると、お気に入りリストが表示されます。

6.3.1 お気に入りの作成

「お気に入り」で、フォルダを作成してファイルを分類できます。

ライブラリページで、**お気に入り**の横の  をクリックして、フォルダを作成します。

注意

- フォルダは32個まで作成でき、1つのフォルダには350個までファイルをインポートできます。「お気に入り」には10,240個までのファイルが収納できます。
- デフォルトでは、**サンプルのお気に入り**フォルダが作成され、このフォルダに自動的にサンプル画像がインポートされます。

6.3.2 お気に入りの名前の変更

お気に入りの名前を右クリックし、**名前の変更**を選択して名前を変更します。

6.3.3 お気に入りの削除

お気に入りの名前を右クリックし、**削除**を選択して削除します。

6.4 インポートファイル

分析前に、ファイルを「お気に入り」または特定の「フォルダ」にインポートして、ファイルを管理することができます。

ステップ

注意

- インポートできるファイルには、温度情報を含む画像、すなわちサーモグラフィカメラでキャプチャされた画像と、温度情報のあるビデオが含まれます。
- ファイルを一括インポートすることができます。ファイル拡張子は.jpeg、.jpg、.rvである必要があります。
- KEW Thermo Analysisには10240個までのファイルがインポートできます。「お気に入り」にのみインポートされたファイルは、**すべてのファイル**にのみ表示されます。これは、特定のフォルダに属しません。
- ファイルをインポートする前に、インポートモードを設定できます。詳細については[ファイルのインポートモードの設定](#)を参照してください。

1. 「ライブラリ」ページで、次のいずれかの方法を選択して、ファイルをインポートします。

- **すべてのファイル**または特定の「お気に入り」を選択し、**インポート**をクリックします。ファイルを選択してKEW Thermo Analysisにインポートします。**ローカルファイル**でファイルを選択します。ファイルを右クリックして**お気に入りにインポート**を選択し、インポート先のお気に入りを選択します。ローカルPCでフォルダを開きます。ファイルを選択し、**すべてのファイル**または特定の「フォルダ」にドラッグします。

注意

「お気に入り」または「フォルダ」が空白の場合、右側の空白エリアをクリックして、ファイルをインポートできます。

6.4.1 ファイルのインポートモードの設定

お気に入りにファイルをインポートする前に、画像とビデオのインポートモード（コピー、切り取り、インデックス）を設定することができます。

1. 右上の  をクリックして「設定」ウィンドウを開きます。**インポートモード**を選択します。

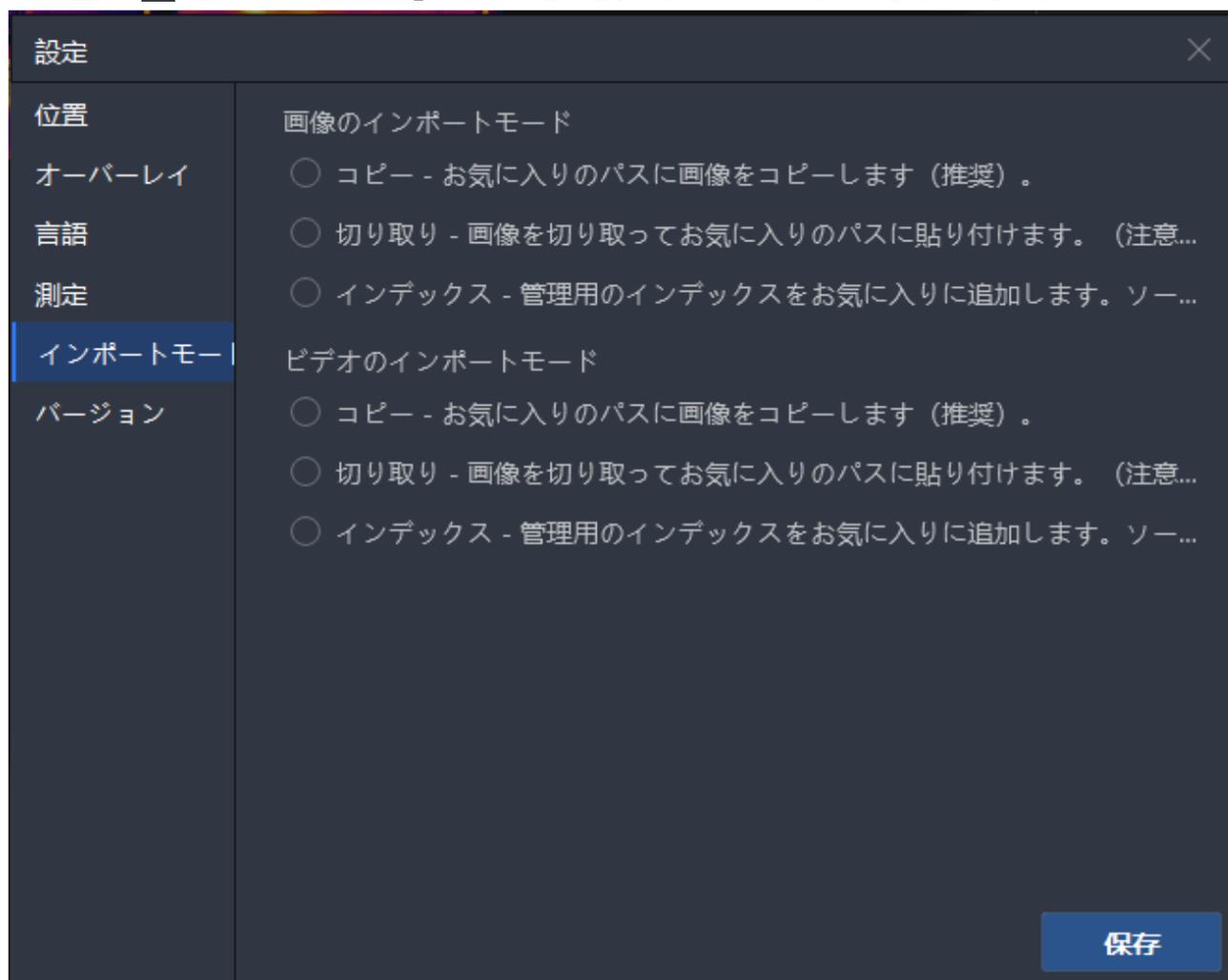


図 6-2 インポートモードの設定

2. 画像とビデオのインポートモードを選択します。

3. **[保存]**をクリックして設定を保存します。

インデックスモード

インデックスモードでは、ファイル管理用としてKEW Thermo Analysisに、ファイルのインデックスのみがコピーされます。ソースファイルが変更されます。

コピーモード

コピーモードでは、KEW Thermo Analysisにファイルがコピーされ、そのコピーが「お気に入り」で管理されます。元のファイルは変更されません。

切り取りモード

カットモードでは、ファイルがカットされてKEW Thermo Analysisに転送され、「お気に入り」の保存場所で管理されます。元のファイルは削除されます。

6.5 ファイル名の変更

次の中からファイルの名前を変更する方法を一つ選びます。

- 名前を変更したいファイルを右クリックし、**名前の変更**をクリックします。
- 名前を変更したいファイルにチェックマークを入れます。  **その他 > 名前の変更**をクリックします。

注意

名前を変更した後でも、ローカルPC上のファイル名は変更されません。

6.6 ファイルの削除

1つのファイルを削除することも、複数のファイルを一括して削除することもできます。

注意

すべてのファイルの下にあるファイルを削除した場合、元のファイルも削除されます。特定の「お気に入り」にあるファイルを削除した場合、そのファイルは「お気に入り」フォルダからのみ削除されます。

- 1つのファイルを削除する：
 - ファイルの上にカーソルを置き、ファイルの右下で  をクリックし、ポップアップウィンドウで**OK**をクリックします。
 - ファイルを右クリックして**削除**を選択し、ポップアップウィンドウで **OK** をクリックします。
- ファイルの一括削除：

必要に応じて複数のファイルを選択し、ツールバーで**削除**をクリックし、ポップアップウィンドウで**OK**をクリックします。

6.7 ファイルにタグを追加

ファイルにタグがない場合は、ファイルにタグを追加できます。既にファイルにタグが付いている場合は、タグを変更できます。

必要に応じて、分類の目的で、ファイルにタグを追加することができます。たとえば、処理の優先度に応じて、直ちに処理する必要があるファイルに赤いタグを追加することができます。

タグ付けしたいファイルを1個以上選択し、ツールバーで**タグ**の上にカーソルを置き、カラータグを選択します。タグを追加すると、ファイルの下にタグが表示されます。

タグの付いたファイルを右クリックし、**タグのリセット**をクリックして、追加したタグをリセットします。

6.8 テキスト注釈を追加する

画像にテキスト注釈を追加すると、画像がフィルタリングしやすくなります。

注意

テキスト注釈を追加し、分析ページで注釈を編集できます。

レポート編集ページではテキスト注釈は編集できませんが、注釈オブジェクトに注釈としてテキストを入力することができます。

1. 「分析」ページで画像を選択し、右側の  をクリックして「画像情報」パネルを開きます。

図 6-3 画像情報



2.  をクリックして、ボックスにテキスト注釈を記入します。記入した注釈は、「コメント」行に表示されます。

注意

追加されたテキスト注釈は、自動的にテキスト注釈オブジェクトに入力されます。

6.9 ファイルの分類と並べ替え

ファイルを、時間やタグなどで分類して並べ替えることができます。

- KEW Thermo Analysisの右上で  をクリックし、**時間** (年/月/日)または**タグ**を選択して、ファイルをグループ分けします。
- KEW Thermo Analysisの右上の  をクリックし、**時間**、**タグ**、または**名前**を選択し、ファイルを昇順/降順で並べ替えます。

注意

キャプチャ時刻のないファイルは**不明列**に表示されます。

6.10 ファイルのフィルタリング

種々の条件を設定して、ファイルをフィルタリングすることができます。

6.10.1 時間範囲によるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
2. 特定の時間範囲を選択します。
3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

6.10.2 タグによるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
2. タグの色を選択します。
3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

6.10.3 テキスト注釈によるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
2. **すべて**、**コメントなし**、**コメントあり**のいずれかを選択します。

注意

- **すべて**または**コメントあり**を選択した場合、キーワードを入力してあいまい検索ができます。音声注釈はサポート対象外です。
- テキスト注釈については[テキスト注釈を追加する](#)を参照してください。

3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

6.10.4 名前によるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
2. ファイル名のキーワードを入力します。
3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

6.10.5 使用モデルによるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
2. **デバイスモデル**の記入欄に画像を絞りたいサーモグラフィカメラのモデル名を入力します。
3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

6.10.6 アセットIDによるファイルのフィルタリング

ステップ

1. 右上の  をクリックしてフィルタリングパネルを開きます。
-

2. **アセット番号**にアセットIDを入力します。
3. **フィルター**をクリックして、目的のファイルを検索します。
4. オプション:  > **リセット**をクリックすると、フィルター条件がリセットされます。

CHAPTER 7 画像とビデオの分析

放射測定画像と放射測定ビデオを分析して、画像レポートが作成できます。



ビデオファイルはレポート作成の対象外です。

7.1 タスクリストにビデオ/画像を追加する

分析の前に、タスクリストに画像とビデオを追加する必要があります。



タスクリストにはビデオと画像が350個まで追加できます。

7.1.1 ビデオ/画像を1つ追加する

お気に入りに登録したビデオ/画像を、1つずつタスクリストに追加できます。

ステップ

1. お気に入りを選択します。
2. ビデオ/画像を右クリックします。
3. **タスクリストに追加する**を選択します。



タスクリストにビデオ/画像を追加した後で、右下の**分析**をクリックして**分析**タブに移動します。

7.1.2 複数のビデオ/画像を追加する

タスクリストに、お気に入りから複数のファイルを追加することができます。

ステップ

1. お気に入りを選択します。
2. 複数のファイルを選択します。
 - ファイルの右上にあるチェックボックスを選択します。

- サムネイルが表示されているウィンドウの上で、「年」のチェックボックスを選択し、その年のファイルをすべて選択します。

3. ファイルを右クリックします。

4. **タスクリストに追加する**を選択します。



タスクリストにファイルを追加した後で、右下の**分析**をクリックして**分析**タブに移動します。

7.1.3 すべてのビデオ/画像を追加する

タスクリストに、お気に入りのすべてのファイルを追加することができます。

ステップ

1. お気に入りを選択します。

2. タスクリストにすべてのファイルを追加します。

- お気に入りを右クリックし、**タスクリストに追加する**を選択します。
- ビデオのサムネイルが表示されているウィンドウの上で、**すべて選択**チェックボックスを選択し、ファイルを右クリックして、**タスクリストに追加する**を選択します。

注意

タスクリストにビデオを追加した後で、右下の**分析**をクリックして**分析**タブに移動します。

7.2 画像分析

7.2.1 分析タブ（画像）のナビゲーション

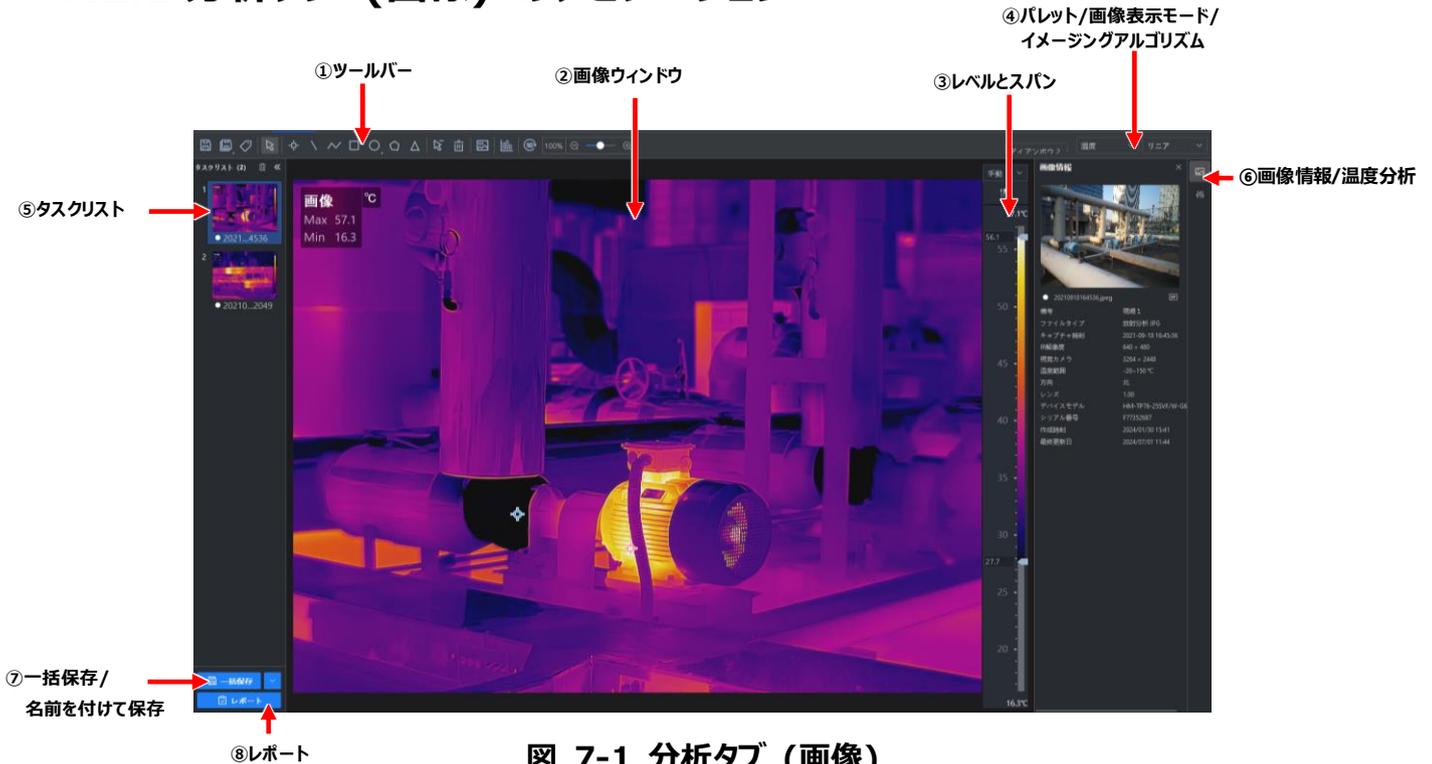


図 7-1 分析タブ（画像）

- ①：測定ツール、画像のエキスポートと保存、測定ツールの色の編集、画像の回転、画像の拡大/縮小などを含む。
- ②：拡大画像を表示します。画像に測定ツールを描き、画像上に温度結果を重ねて表示し、「温度分析」に表示することができます。
- ③：「レベルとスパン」を調整すると、温度スケールが変化します。温度スケールの上で、「自動/手動」モードを切り替えることができます。イメージングアルゴリズムが線形の場合のみ、温度スケールに目盛が表示されます。 **温度スケールを反転する**をクリックすると、温度スケールとパレットが反転できます（この機能は、「フォーカスモードパレット」と「色アラーム」では使用できません）。
- ④：パレット、画像表示モード、イメージングアルゴリズムを選択します。
- ⑤：画像分析の前に、タスクリストに画像を追加する必要があります。現在分析中の画像を切り替えることができます。リスト中でサムネイルの上にカーソルを置き、 をクリックすると、リストから削除されます。

⑥：画像情報/温度分析を開いた後、必要に応じて、ドラッグして好みの位置に移動できます。

-  画像情報：ビジュアル画像、キャプチャ時刻、画像解像度などを表示します。
-  温度分析：温度測定パラメータを設定すると、画像全体または画像上で選択した測定ツールの温度測定結果を表示します。

⑦：タスクリストで一括保存するか画像として保存します。

⑧：画像分析レポートを作成します。

7.2.2 温度測定ツール

測定ツールの追加

温度を測定する際に、ツールバーで、1つ以上の測定ツール（カスタマイズポイント、円、ラインなど）を使用することができます。画像に測定ツールを追加すると、右側の「温度分析」ペインに、測定温度が表示されます。画像ファイルにツールの設定が保存され、サーモグラフィーレポートを作成する際に測定温度の結果が使用できます。

以下に、ツールバーに測定ツールを追加する方法について説明します。

カスタマイズポイント

ライン

ポリライン

エリア

温度差（デルタ）の計算

カスタマイズポイント

 をクリックすると、必要に応じて、画像上にカスタマイズポイント測定ツールが追加されます。

 をダブルクリックすると、画像上に連続的にカスタマイズポイントが追加されます。

ライン

 をクリックすると、画像上に測定用の線が描けます。

ポリライン

 をクリックすると、画像上に測定用のポリラインが描けます。ポリラインを描く場合、10個まで接続点が追加できます。

エリア

矩形、円、楕円、多角形などのツールを追加して、そのエリア内の温度を測定できます。実際のシナリオに応じて、種々の形状を描くことができます。たとえば、エリアの形状が不規則な場合、多角形測定ツールを選択して測定できます。

- 、 または  をクリックし、マウスを左クリックして、エリアを描きます。
-  をクリックし、マウスを左クリックして多角形の最初の線を描き、もう一度マウスを左クリックして、次の線を描きます。右クリックして描画を終了します。多角形を描く場合、10個まで接続点が追加できません。

温度差（デルタ）の計算

計算式を設定すると、自動的に温度間のデルタが計算され、「温度分析」ペインでデルタを表示できます。

注意

画像に少なくとも1つのデルタが追加されています。

ツールバーで  をクリックして、以下のパラメータを設定します：

名称

デルタの名前を作成します。

計算式（必須）

デルタの計算式に使用する測定値と温度を選択します。

注意

2個の測定ツールを結ぶ点線は、必ずしも画像に表示されるわけではありません。たとえば、デルタで選択した温度タイプが平均温度の場合、点線は表示されません。

測定ツールを編集する

測定ツールを移動する

測定ツールのサイズを変更する

デルタの計算式を編集する

測定ツールの表示色を変更する

測定ツールを移動する

ツールバーで  をクリックし、画像上で測定ツールを選択して新しい場所にドラッグします。

測定ツールのサイズを変更する

1. ツールバーで  をクリックします。
2. 画像で測定ツールを選択します。
3. ツールで接続点をドラッグして、ツールのサイズを変更します。

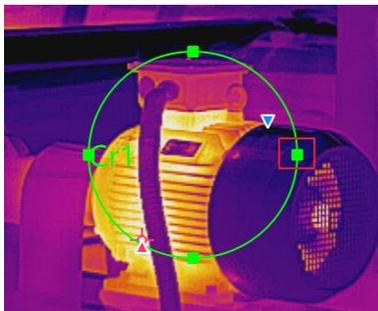


図 7-2 測定ツールのサイズを変更する

デルタの計算式を編集する

「温度分析」ペインでデルタを右クリックし、**編集**を選択すると、デルタを編集することができます。

測定ツールの表示色を変更する

測定ツールの表示色が画像の色と似ていて画像と区別しにくい場合は、測定ツールの色を変更することができます。

1. ツールバーで  をクリックします。
2. 画像で測定ツールを選択します。
3. 測定ツールを右クリックし、**測定属性**を選択します。
4. 「カラー」で色を選択し、**OK** をクリックします。

測定ツールの削除

測定ツールを1個ずつ削除することも、測定ツールをすべて削除することもできます。

注意

測定ツールを削除した後、削除したツールにデルタの計算が関連付けられている場合は、そのデルタも削除されます。

1個の測定ツールを削除する

-  をクリックして画像上の測定ツールを選択すると、削除されます。

- 測定ツールを右クリックし、**測定**の削除を選択します。

測定ツールをすべて消去する

- 画像上の任意の場所（測定ツール内の場所を除く）を右クリックし、**測定値をすべて削除**を選択します。
- ツールバーで  をクリックすると、測定ツールがすべて削除されます。

デルタの削除

「温度分析」ペインで測定ツールを右クリックし、**削除**を選択します。

測定パラメータの設定

サーマル画像を取得する際に、測定パラメータを調整して監視効果を高めることができます。

測定パラメータ

測定パラメータの設定

測定パラメータの設定

- 測定を設定したら、画像内の測定値を右クリックし、**測定属性**を選択して、測定値の名前を変更し、測定値の色を設定し、測定パラメータを設定します。
- 画像上の任意のエリア（測定ツールのエリアを除く）を右クリックし、**グローバル測定属性**を選択して、画像パラメータを設定します。「分析」ページの右側で  をクリックして「パラメータ」ペインを開き、測定パラメータまたは画像パラメータを設定します。

注意

- KEW Thermo Analysisの中央にウィンドウをドラッグすると、表示を見やすくすることができます。また、 をクリックすると、ファイルを非表示にすることができます。
 - たとえば、L1測定値を選択した場合、パラメータのサフィックスはL1になります。測定値を選択しない場合、パラメータのサフィックスは「Image」となります。これは、現在の画像の測定パラメータを示しています。
 - 他の測定パラメータを設定する必要がある場合、画像で測定値を選択するか、**測定パラメータ**の右側で測定値を選択し、新しく選択した測定値のパラメータを設定します。
 - 「画像」として測定パラメータが選択されている場合、 をクリックします。すると、画像の測定パラメータが、現在の画像の全部の測定値と同期されます。
-  をクリックすると測定パラメータがリセットされます。

測定パラメータ

環境

測定環境の実際の温度を意味します。

湿度

測定環境の実際の湿度を意味します。

放射率

あらゆるオブジェクトには放射率があり、これは、表面温度、表面の粗さ、酸化度、コーティングなどによって影響を受けることがあります。

距離

オブジェクトとサーモグラフィカメラの間の距離です。

反射

温度測定結果は反射温度によって影響を受けます。

アラームの種類/アラームのしきい値

最高温度/平均温度/最低温度がアラームしきい値を上回るか下回ると、アラームがトリガーされます。詳細な分析が行えるように、アラーム測定ツールがアラームカラーで表示されます。温度アラームの分析の詳細については[温度アラームの分析](#)を参照してください。

デルタ範囲

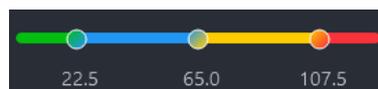


図 7-3 デルタ範囲

デルタ範囲の上限と下限は、デバイス（サーモグラフィカメラ）の温度測定範囲に対応します。下限から最初の値までの範囲は、温度が正常であることを示しています。最初の値から2番目の値までの範囲は、検査が必要であることを示しています。2番目から3番目の値は、動作停止後にメンテナンスが必要であることを示しています。3番目の値から上限までの範囲は、直ちにメンテナンスが必要であることを示します。

この値を設定すると、「温度分析」ウィンドウの温度差の結果が、デルタ結果の範囲の色に応じて表示されます。

たとえば、左側の最初の範囲の値が22.5に設定されている場合、デルタが22.5以下になると、デルタの結果が緑色のフォントで表示されます。

測定結果の重ね合わせ

これを有効にした後で、画像に重ねて表示したい測定ツール、温度タイプ、デルタを選択すると、測定結果が表示されます。

ステップ

1. ツールバーで  をクリックします。
2. **温度情報の重ね合わせ** ウィンドウで、測定結果を重ねて表示したい位置を選択します。
3. 画像に重ねて表示したい測定ツール、温度値、デルタに、チェックマークを入れます。
4. **[OK]** をクリックします。

タスクリストの全画像に測定ツールを適用する

一度に複数の画像を分析する場合、タスクリスト内の他の測定ツールに、画像に配置された測定ツールを適用すると、画像分析の効率を改善することができます。

タスクリストタブで画像を右クリックし、**すべてに測定値を適用する**を選択します。

タスクリストの全画像に画像パラメータを適用する

一度に複数の画像を分析する場合、タスクリスト内の他の測定ツールに画像設定を適用すると、画像分析の効率を改善することができます。

タスクリストタブで画像を右クリックし、**すべてに画像設定を適用する**を選択すると、現在の画像の設定 (パレットタイプ、画像表示モード、詳細設定) が、タスクリスト中の他の画像にも適用されます。

7.2.3 温度アラームの分析

測定ツールの測定結果が設定したアラームしきい値を上回るか下回ると、設定したアラームカラーで測定ツールが表示されるため、異常な温度を容易に分析することができます。

アラーム分析の有効化/無効化

有効にした場合、測定ツールの測定結果が設定したアラームしきい値を上回るか下回ると、設定した対応するアラームカラーで、測定ツールが表示されます。それと同時に、「温度分析」ペインに、測定ツールの測定結果が赤で表示されます。

ステップ

1.  をクリックして**温度分析**ペインを開きます。
2. **測定パラメータ**で、ドロップダウンリストからアラームタイプを選択します。

注意

ドロップダウンリストで**無効**を選択すると、この機能を無効にすることができます。

3. アラームしきい値を設定します。

画像の再タグ付け

デバイスまたは「ライブラリ」タブに設定されている画像のタグの色をリセットしたい場合、画像分析中に画像に再度タグ付けすることができます。

ツールバーで  をクリックしてタグの色を選択します。選択した後に、「ライブラリ」ページの画像のタグの色も変更されます。

7.2.4 温度分布グラフ（画像）を表示する

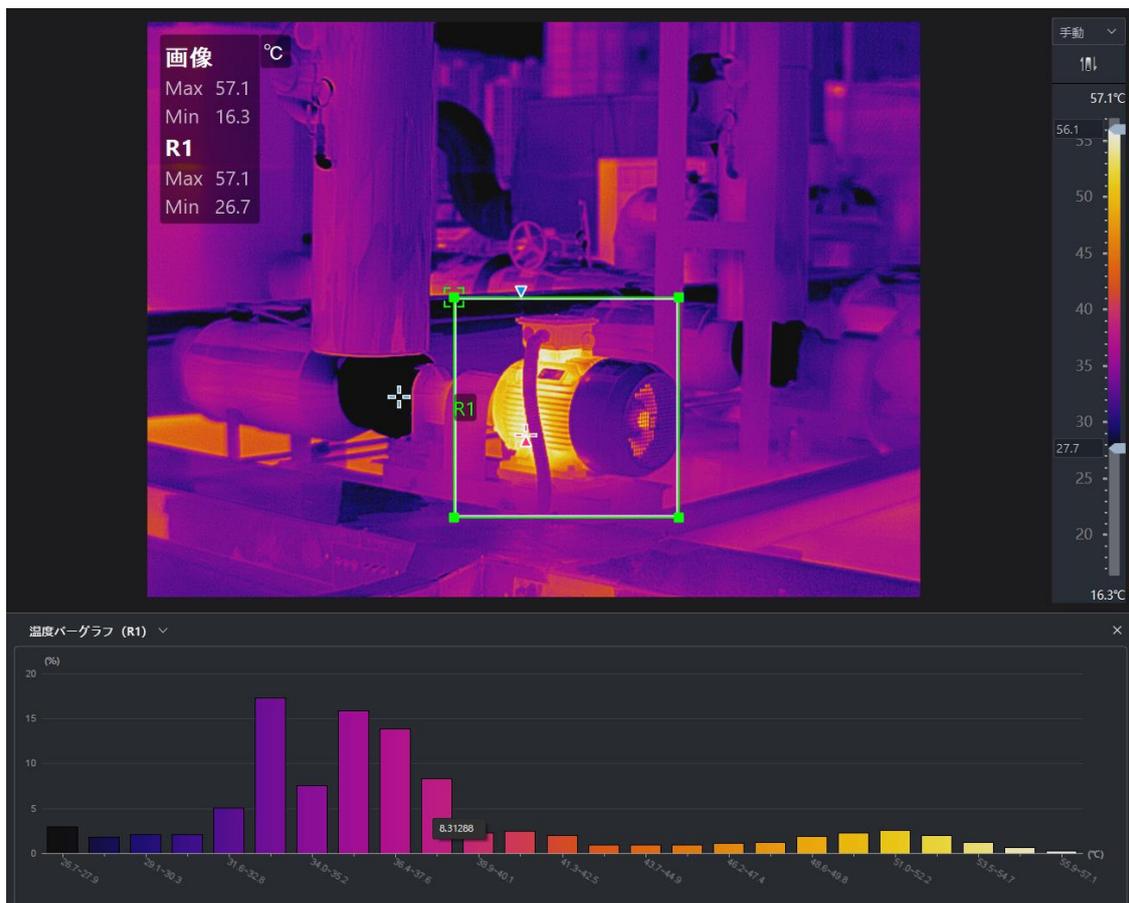


図 7-4 温度分布グラフ

温度分布グラフを表示する

ステップ

1. ツールバーで  をクリックすると、温度分布グラフが表示されます。
2. グラフの上にカーソルを置くと、各温度範囲のピクセルの割合が表示されます。

温度グラフ (画像) 画像（ツールを除く）をクリックすると、その画像のグラフが表示されます。

温度グラフ (ツール) 画像でツールをクリックすると、そのツールのグラフが表示されます。

7.2.5 画像編集ツール

画像を容易に分析できるように、(画像表示モードやパレットなどの設定を通じて) 画像を編集することができます。

注意

利用可能な表示モードは、画像タイプによって異なります。たとえば、サーマルチャンネルのみをサポートするデバイス (サーモグラフィカメラ) で画像がキャプチャされた場合、表示モードはサーマルモードのみになります。

温度 (サーマル)

サーマル画像は、オブジェクトの赤外線放射の相違に基づいて表示されます。サーモグラフィカメラは、オブジェクトの表面で自然に放射される赤外線の分布を、ビジュアル画像に変換することができます。異なるオブジェクトや、同じオブジェクト内の異なる部分は、熱放射特性 (温度差や放射率など) が異なるため、熱放射の違いによって、オブジェクト同士を区別することができます。サーマル画像によって、環境温度の時間変化を監視することができます。サーマルモードには、検知範囲が広く、情報損失が少なく、昼夜を問わず検知が中断されず、検知効果による影響を受けないという利点があります。伝送距離が原因で、画像内の各オブジェクトのコントラストが低くなり、ぼやけてしまいます。

「分析」タブの右上にあるドロップダウンリストで、**温度**を選択します。

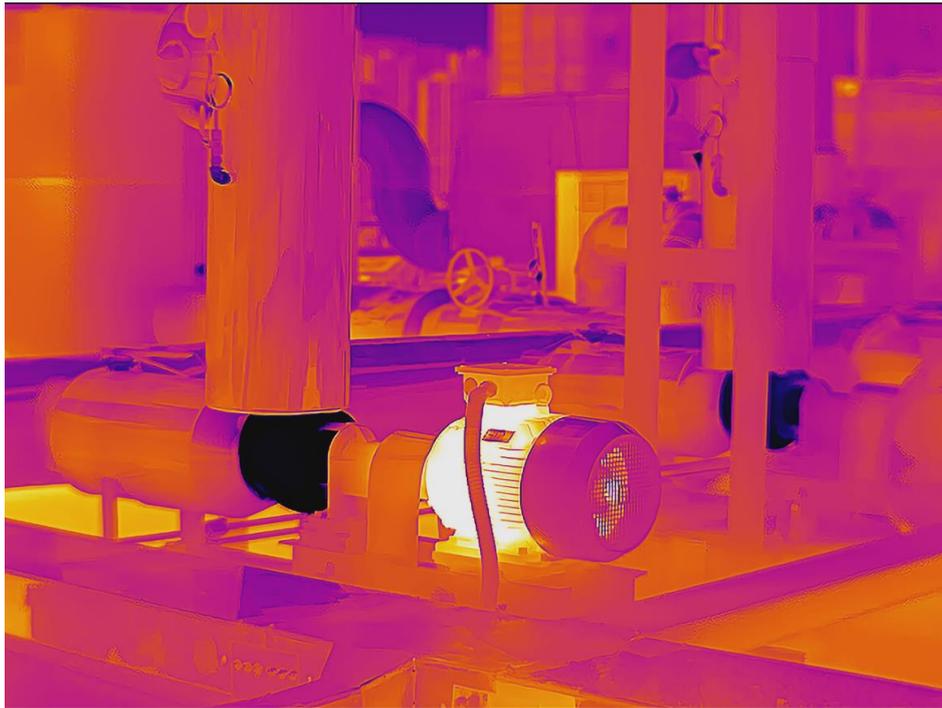


図 7-5 サーマル

融合

融合モードでは、サーマル画像と光学画像を組み合わせることで画像の境界を明確にし、オブジェクトの環境温度を連続的に検知できるだけでなく、環境内のオブジェクトの形状を区別することもできます。

「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、**融合**を選択します。

注意

必要に応じて、**融合アライメントの調整**をクリックして、ビジュアル画像と放射測定画像を位置合わせします。

-  /  をクリックすると、ビジュアル画像が拡大/縮小します。また、プラス/マイナスキーを押すと、画像を拡大/縮小することができます。
-  /  /  /  をクリックしてビジュアル画像の位置を調整します。また、キーボードの方向キーを押しても位置を調整することができます。
- ビジュアル画像の位置を、ビジュアル画像がキャプチャされたときの位置に戻すには、**リセット**をクリックします。

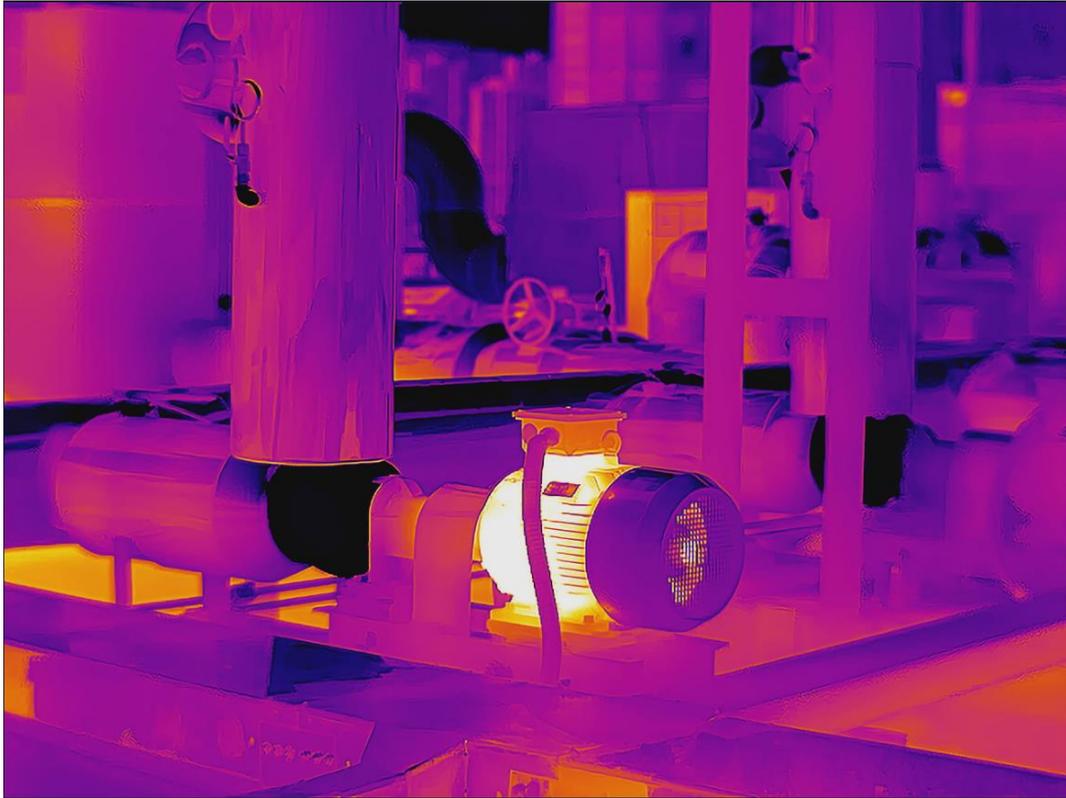


図 7-6 融合

混合

可視光線の比率が調整できます。サーマルモードの画像が不鮮明な場合、可視光の比率を高めると、さらに詳細な情報を取得して正確な判断を下すことができます。

- 1.「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、**混合**を選択します。
- 2.スライダーを左右にドラッグして、サーマルとビジュアルのバランスを調整します。



図 7-7 混合

PIP (ピクチャーインピクチャー)

PIP (ピクチャーインピクチャー) モードでは、光学画像が画像の背景に表示され、サーマル画像が画像の中央に表示されます。サーモグラフィカメラが1チャンネルの場合、実際の環境を表示するだけでなく、PIPモードで環境内の温度変化も表示することができます。

「画像分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、**ピクチャーインピクチャー**を選択します。必要に応じて**サーマルビューの調整**をクリックし、インターフェイスの指示に従って、放射測定画像のサイズを変更したり、位置を移動することができます。

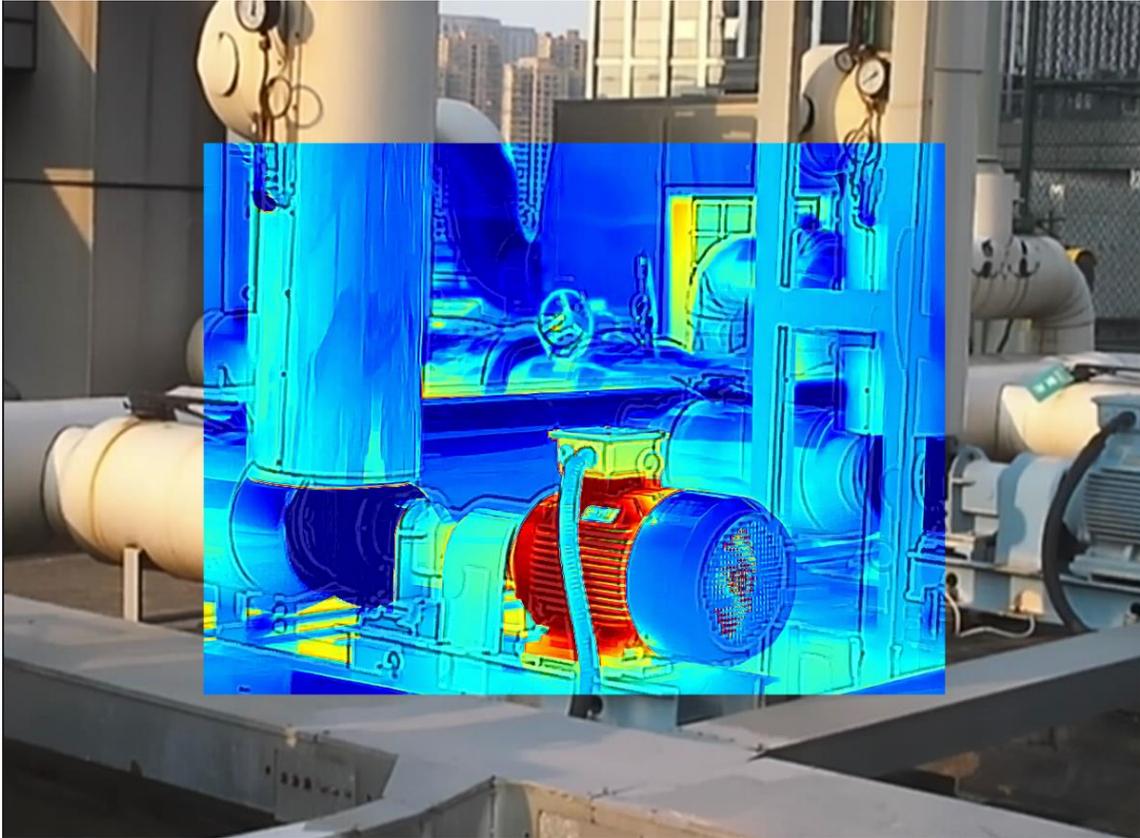


図 7-8 ピクチャーインピクチャー

可視画像

このモードでは、画像は、実際の環境またはオブジェクトの実際の色に近くなります。サーマルモードでは、オブジェクトの形状を区別することが困難です。光学モードに切り替えて測定（エリア）を描いた後にサーマルモードに切り替えると、測定エリアの温度情報が表示できます。

「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、**可視画像**を選択します。

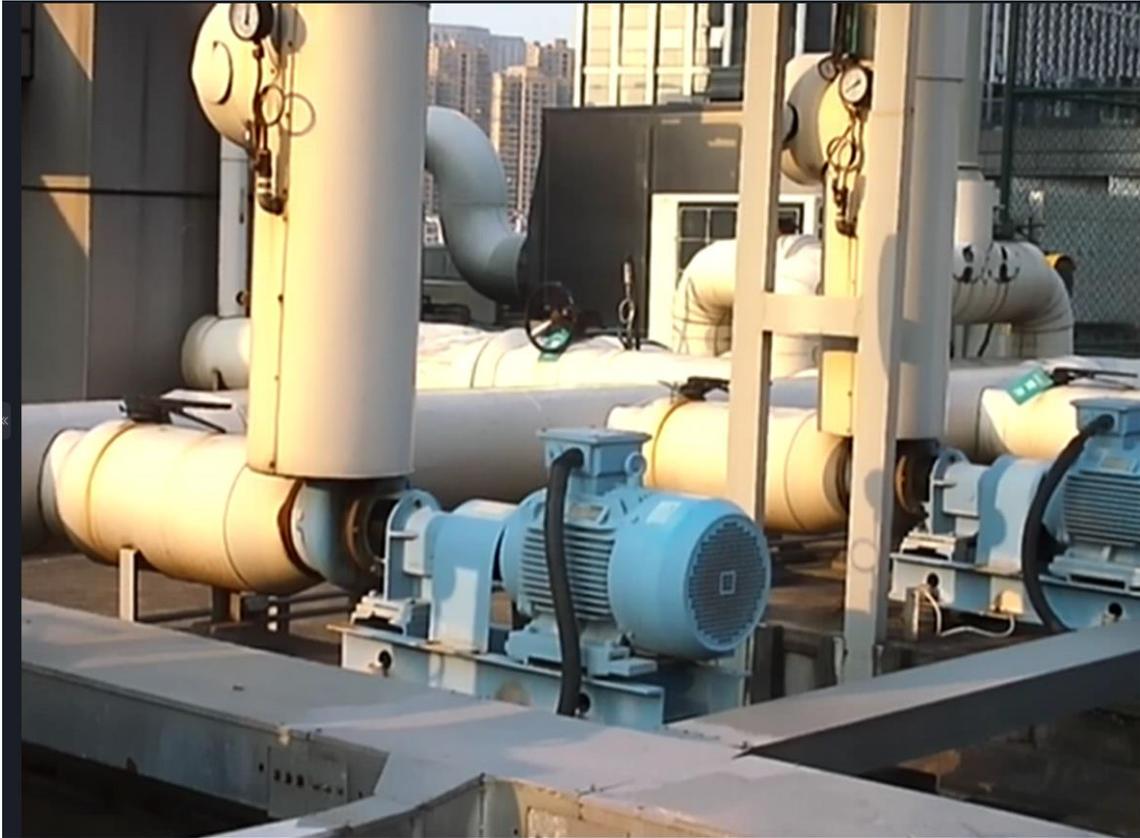


図 7-9 可視画像

パレット

パレットは、画像表示を、白黒からカラーに変換する方法です。人間の目は白黒画像の解像度に敏感ではないため、線形または非線形マッピング機能によって、パレット処理が、白黒画像の異なるグレースケールを異なる色に変換するので、画像境界の認識性が向上し、画像の細部を識別する人間の目の能力が改善され、肉眼では直接観察できないグレースケール画像に隠された情報が取得できるようになります。パレットモードは、変換後の画像の色表示モードであり、KEW Thermo Analysisで、手動で設定できます。

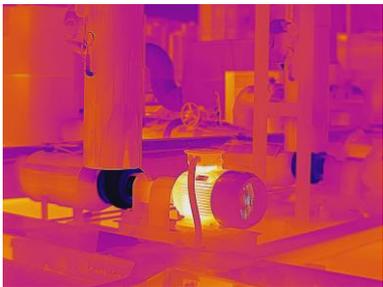
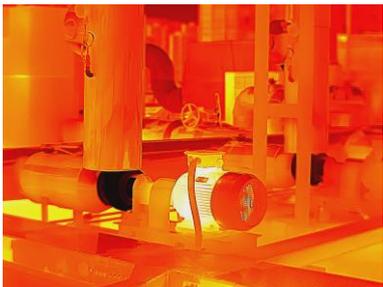
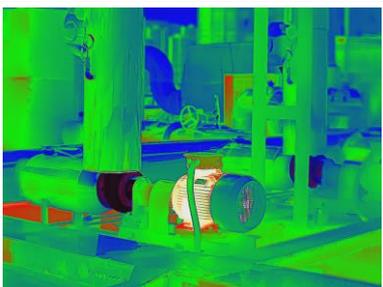
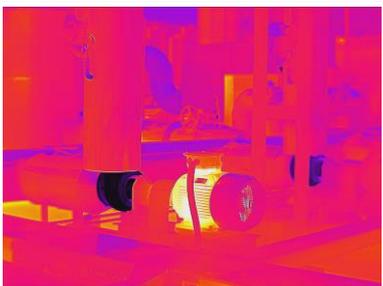
パレットの設定

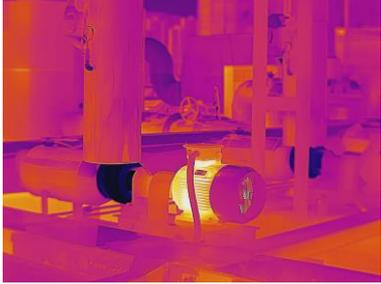
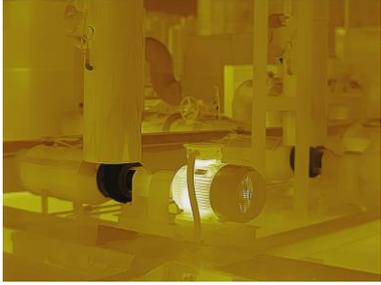
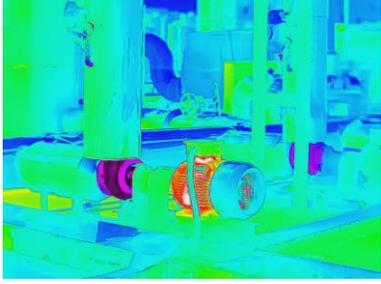
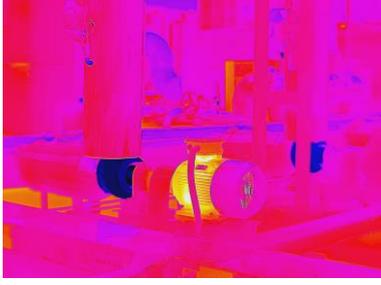
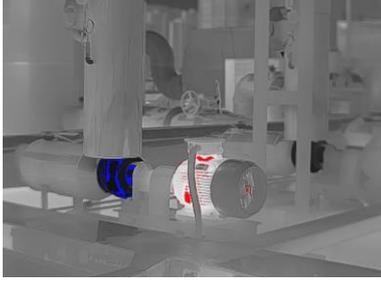
パレット

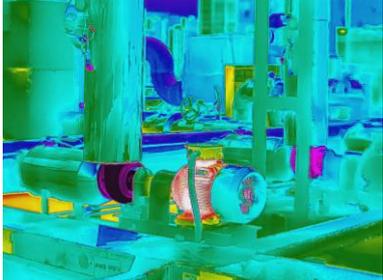
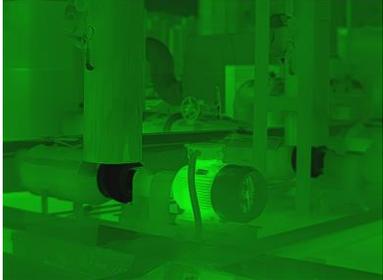
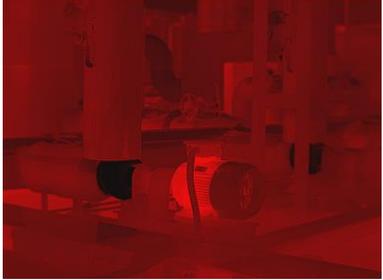
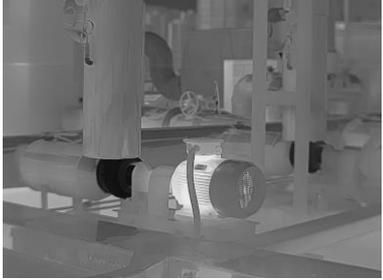
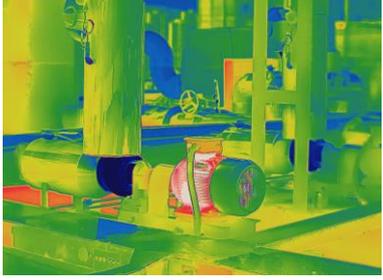
パレットの設定

「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストの「色アラーム」で、パレットタイプを選択します。

パレット

パレット	画像例
ブラックホット	
融合 1	
融合 2	
レインボー	
アイアンボウ 1	

パレット	画像例
アイアンボウ 2	
ダークブラウン	
カラー 1	
カラー 2	
アイスファイア	

パレット	画像例
レイン	
グリーンホット	
レッドホット	
ホワイトホット	
ディープブルー	

パレット	画像例
青赤	

フォーカス

フォーカスを使用すると、フュージョンパレットで特定の温度範囲のターゲットにマークを付け、ホワイトホットパレットでその他のターゲットにマークを付けることができます。

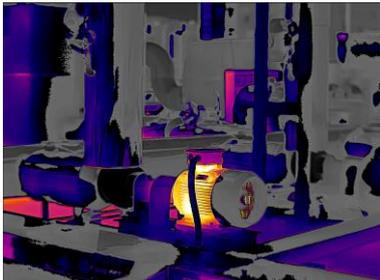
フォーカスの設定

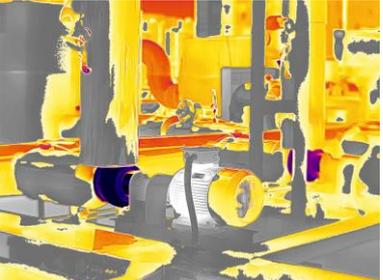
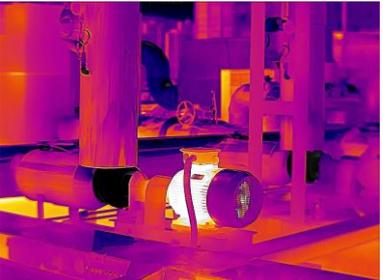
フォーカス

フォーカスの設定

- 1.「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストの「フォーカス」で、パレットタイプを選択します。
- 2.フォーカス名の右側で、温度のしきい値または温度範囲を設定します。設定後、温度がアラーム上限に達すると、画像内のオブジェクトピクセルが、異なる色でマークされます。

フォーカス

フォーカス	説明	画像例
高温 フォーカス	アラーム温度を設定すると、フュージョンパレットで、設定値より高い温度のターゲットが表示されます。	

フォーカス	説明	画像例
低温 フォーカス	アラーム温度を設定すると、フュージョンパレットで、設定値より低い温度のターゲットが表示されます。	
インターバルフォーカス	温度範囲（例：90℃～150℃）を設定すると、フュージョンパレットで、範囲内の温度のターゲットが表示されます。	

色アラームを設定する

色アラームを使用すると、特定の温度範囲のターゲットを、残りの部分と異なる色でマークすることができます。

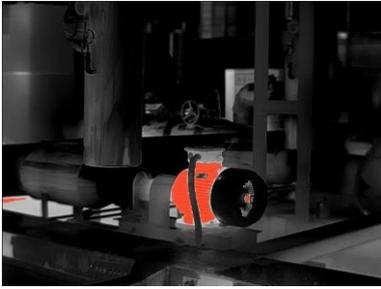
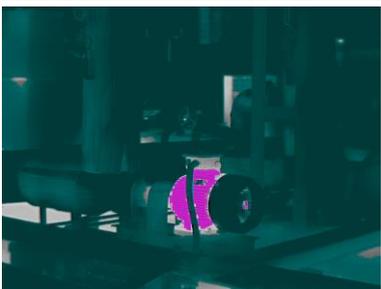
色アラームを設定する

色アラーム

色アラームを設定する

- 1.「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、アラームタイプを選択します。
- 2.アラームタイプ名の右側で、温度のしきい値または温度範囲を設定します。設定後、温度がアラーム上限に達すると、画像内のオブジェクトピクセルが、異なる色でマークされます。

色アラーム

色アラーム	説明	画像例
高温配色	設定値より温度が高いターゲットは赤で表示されます。	
低温配色	設定値より温度が低いターゲットは青で表示されます。	
間隔配色	設定温度範囲内のターゲットは黄色で表示されます。	
断熱配色	セクション外の温度（70℃または125℃など）のターゲットは、紫または青で表示されます。	

配色

画像内の配色を変更することができます。配色を変化することで、さらに簡単に、かつ徹底的に画像が分析できます。

「分析」ページの右上にあるドロップダウンリストで、配色を選択します。

表 7-1 配色

配色	説明
リニア	画像の温度スパンが大きい場合に適用されます。
ヒストグラム	画像の温度スパンが小さい場合に適用されます。

7.2.6 レベルとスパン

温度レベルを変更すると、温度異常が容易に分析できるようになります。「自動」や「手動」など、3つのレベルとスパンの調整モードがあります。次章では、このモードの使い方について説明します。

自動レベルとスパン

このモードで、KEW Thermo Analysisは、画像のコントラストと輝度が最良となるように、自動的に温度スケールを計算します。

温度スケールの上にあるドロップダウンリストで**自動**を選択します。

注意

- このモードの画像エフェクトがニーズを満たさない場合、**手動**を選択すると、手動で温度スケールを調整することができます。詳細については**手動のレベルとスパン**を参照してください。
- 自動モードで、面積測定ツール（矩形、円、楕円、多角形を含む）を右クリックし、**領域画像の強調**を選択します。自動的にそのエリアの温度スケールを計算します。**手動**モードに切り替えると、温度スケールを、手動でさらに細かく調整することができます。詳細については**手動のレベルとスパン**を参照してください。また、「手動」モードでは、この面積測定ツールを移動したりそのサイズを変更して、同時に画像効果を変化することができます。

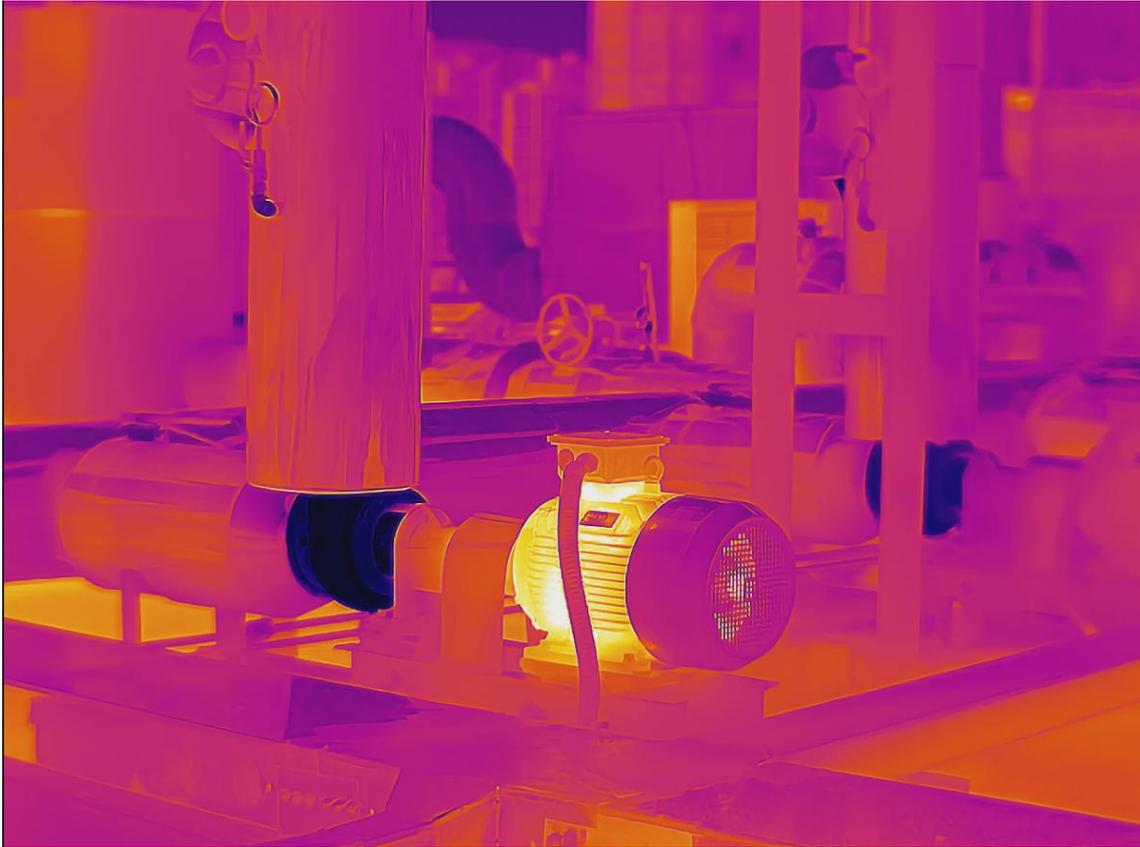


図 7-10 画像例（自動）

手動のレベルとスパン

手動で、温度スケールの上限と下限のレベルを調整することができます。温度スケールを、オブジェクトの温度に近い値に変更すると、温度異常が発見しやすくなります。

ステップ

1. 温度スケールの上にあるドロップダウンリストで**自動**を選択します。
2. 温度スケールを調整します。
 - スライダー  を上下にドラッグして、温度スケールの上限と下限のレベルを変更します。
 - 2個のスライダーの中央にカーソルを移動し（カーソルが手の形のアイコンに変化する）、カーソルをドラッグして位置を調整し、温度スケールを調整します。

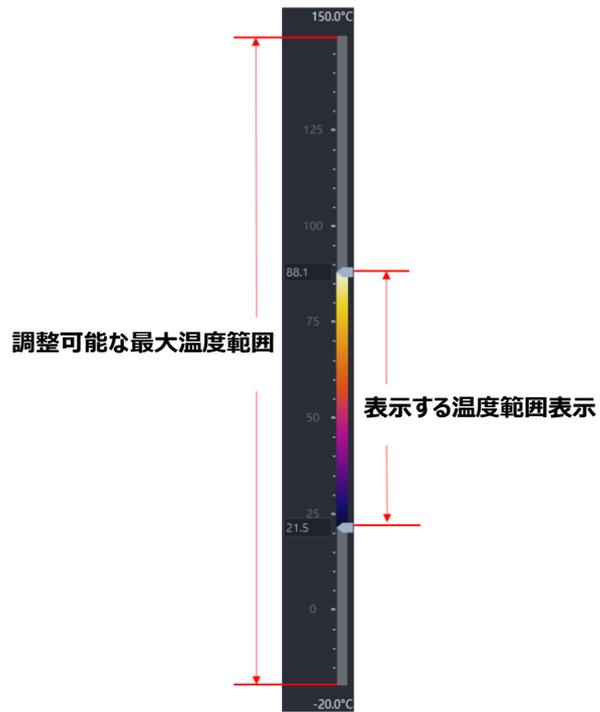


図 7-11 温度スケール

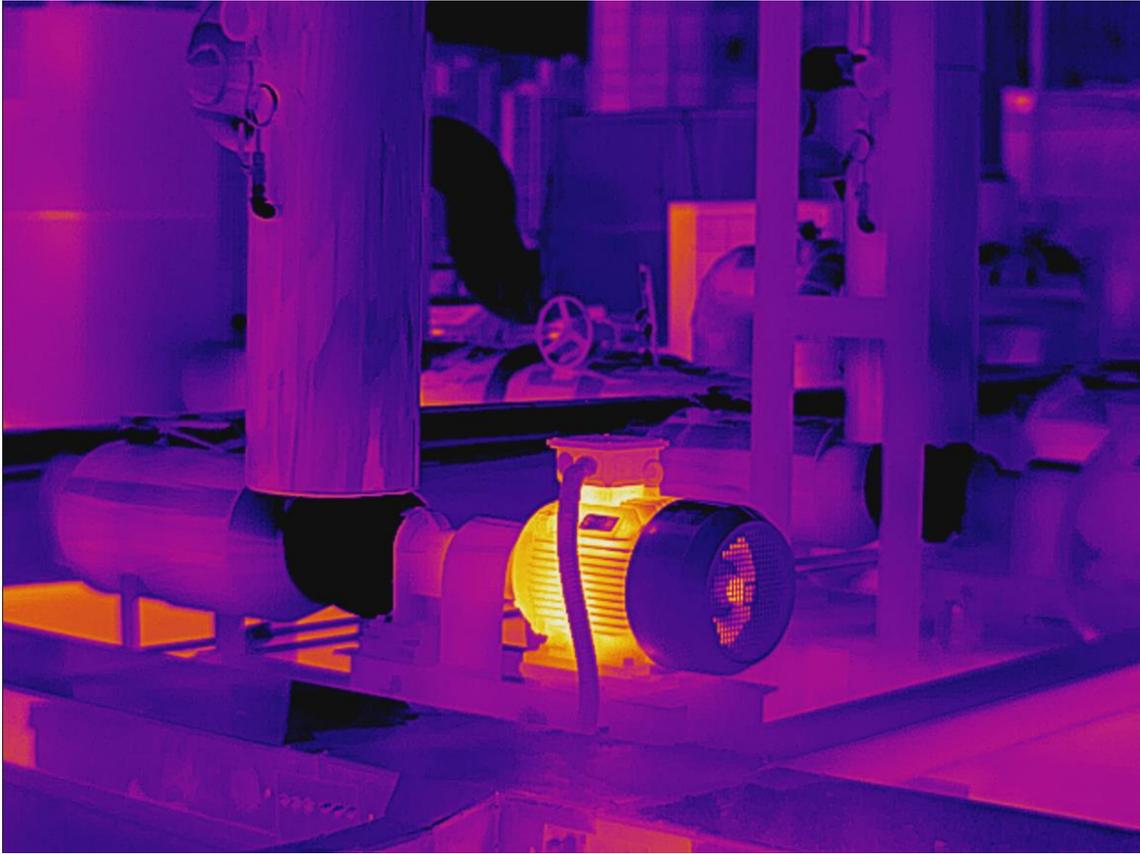


図 7-12 画像例（手動）

7.2.7 画像の保存/エクスポート

画像を保存

画像分析後に、参照できるように、変更後の画像情報（測定値、温度情報、テキスト注釈など）を保存することができます。

1枚の画像を保存したり、全部の画像を保存するには、以下のように操作します。

保存

タスクリストで画像を選択し、ツールバーで  をクリックして、変更後の画像情報を保存します。

タスクリストで画像を選択し、ツールバーで  をクリックします。次に、画像名を入力し、保存場所を選択すると、指定した保存場所に、変更後の画像を保存できます。

一括保存

 Batch Save をクリックすると、変更後の全画像情報が保存されます。

 の左側で  をクリックし、**名前を付けて一括保存**を選択すると、指定したパスに、変更後の全画像が保存されます。

画像のエクスポート

画像を編集・分析した後に、画像をエクスポートして、バックアップファイルとしてPCに保存したり、共有することができます。

ステップ

注意

エクスポートされた画像は、温度測定分析には使用できません。

1. 「分析」タブで、タスクリストから、エクスポートしたい画像を選択します。
2. ツールバーで  > **写真エクスポート** をクリックすると、画像がエクスポートされます。

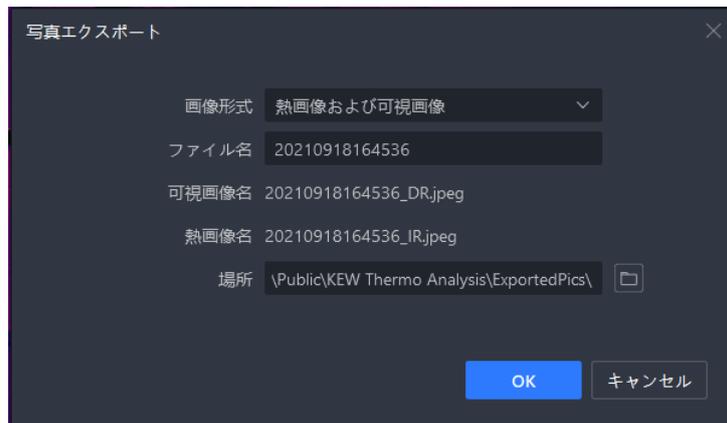


図 7-13 画像のエクスポート

3. 関連するパラメータを設定します。

画像タイプ

サーマル画像とビジュアル画像の両方をエクスポートすることも、どちらか一方を選択してエクスポートすることもできます。

注意

エクスポートできる画像タイプは、デバイス（サーモグラフィカメラ）によって異なります。

ファイル名

サーマル画像とビジュアル画像のファイル名を、同時にカスタマイズすることができます。

保存場所

画像はデフォルトのディレクトリに保存されますが、別の保存場所を選択することもできます。

4. **OK**をクリックして画像をエクスポートします。

温度マトリックスのエクスポート

画像または測定値の温度マトリックスをCSVファイルにエクスポートして、さらに詳しく分析することができます。

ステップ

1. ツールバーで  > **温度マトリックスのエクスポート**をクリックします。

注意

測定ツールを右クリックし、**温度マトリックスのエクスポート**を選択して、選択したツールの温度マトリックスをエクスポートします。

2. ファイルで必要な情報に、チェックマークを入れます。

画像全体のマトリックス

エクスポートされたファイルに、カメラモジュールの解像度に対応する全ピクセルの温度値が含まれます。

測定値のマトリックス

エクスポートされたファイルに、測定値の全ピクセルの温度値が含まれます。

測定情報

ファイルには、距離や放射率など、一般的なパラメータや測定値のパラメータが含まれます。

詳細

ファイルには、平均温度や最低温度など、画像や測定値の結果が含まれます。

3. ファイル名を作成し、ファイルの場所を選択します。**OK**をクリックすると、ファイルがCSV形式でエクスポートされます。

4. **ファイルを開く**をクリックすると温度マトリックスが表示されます。

7.2.8 分析の終了

分析を終了するには、上の **ライブラリ/レポート** タブをクリックして、「ライブラリ」タブまたは「レポート」タブに切り替えます。

注意

レポートをエクスポートする必要がある場合は、右上の**レポート**をクリックします。詳細については**レポートの作成**を参照してください。

7.3 レポート

画像情報（温度情報、パラメータ、テキスト注釈など）からレポートファイルを作成し、それをローカルPCに保存して、温度測定統計の比較・分析・要約を行うことができます。

7.3.1 レポートの作成

レポートをエクスポートする前に、KEW Thermo Analysisでプレビューして編集するためのレポートが作成できます。

注意

タスクリスト中のビデオは、「レポート」ページで自動的に削除されます。

未分析の画像を含むレポートの作成

分析されていない画像を使用して、直接レポートを作成することができます。

1. 「ライブラリ」ページで、レポートの作成方法を選択します：
 - ローカルファイルまたはお気に入りで1枚以上の画像を選択し、右クリックして**レポートの作成**を選択します。
 - ローカルファイルまたはお気に入りで1枚以上の画像を選択し、右クリックして**タスクリストへ追加**を選択します。タスクリストの下で**レポート**をクリックします。
2. テンプレートを選択します。詳細については**レポートテンプレート**を参照してください。
3. **OK** をクリックすると、レポートが生成されます。

注意

KEW Thermo Analysisのレポート編集については、**レポートを編集**で詳細を参照してください。

分析後の画像を含むレポートの作成

分析後の画像を使用して、レポートを作成することができます。

レポートの作成方法を選択します：

- 「分析」ページで、左下の**レポート**をクリックします。テンプレート（レポートテンプレートを参照）を選択し、**OK**をクリックします。レポートに、タスクリストの全画像が適用されます。
 - **レポート**タブを選択し、次のいずれかの方法でレポートを作成することもできます。
 - **既存のテンプレートを選択する**：
 - 左上の  をクリックして、**既存のテンプレートを選択する**を選択します。
 - テンプレート（レポートテンプレートを参照）を選択し、**OK** をクリックします。
 - タスクリストからレポート概要ペインに1枚以上の画像をドラッグしてレポートを作成するか、**画像をすべて追加する**をクリックして全画像のレポートを作成します。
 - **一括処理とエクスポート**：左上の  をクリックして**一括処理とエクスポート**を選択します。テンプレート（レポートテンプレートを参照）を選択し、**OK**をクリックします。作成されたレポートはエクスポートできますが、KEW Thermo Analysisでは編集できません。
-

注意

一括処理とエクスポートを選択すると、エクスポートされたレポートの各ページで、すべてのサーマル画像オブジェクトに、自動的に画像が入力されます。

空白のレポートを作成する：左上の  をクリックし、**空白のレポートを作成**を選択します。レポート概要ペインに、空白のページが作成されます。必要に応じてコンテンツをカスタマイズすることができます。

7.3.2 レポートテンプレート

既存のテンプレートから選択するか、テンプレートをカスタマイズしてレポートを作成し、ローカルPCに保存することができます。

「テンプレートの選択」ウィンドウに、コンテンツページの既存のテンプレートとカスタマイズされたテンプレートを含むすべてのテンプレートが表示されます。

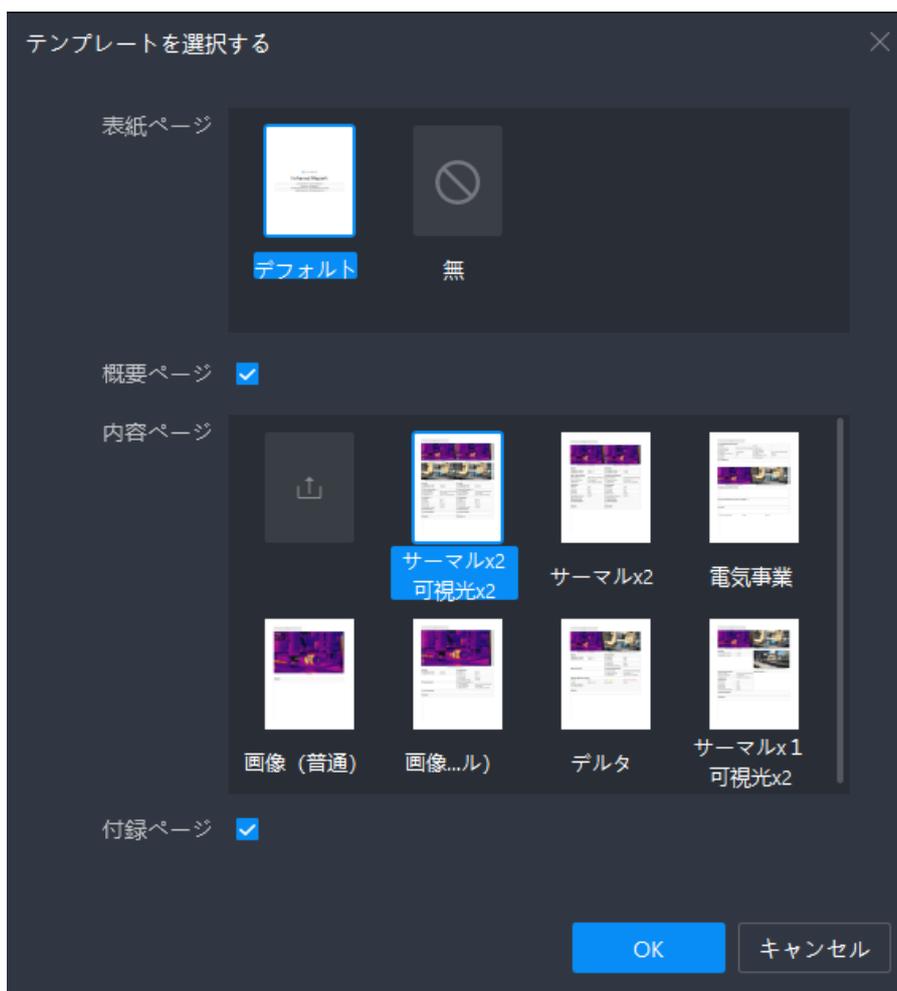


図 7-14 テンプレートを選択

テンプレートを選択

ステップ

1. レポートの作成方法を選択すると、「テンプレートの選択」ウィンドウがポップアップ表示されます。
2. 必要に応じてテンプレートを選択します。

注意

オプションには、KEW Thermo Analysisから提供されたテンプレートと、カスタマイズされたテンプレートが含まれます (テンプレートとして保存を参照)。

3. **OK**をクリックすると、レポートが作成されます。

テンプレートのインポート

始める前に

「テンプレートの選択」ウィンドウを開きます。詳細についてはテンプレートを選択を参照してください。

ステップ

1. 「内容」ページで  をクリックします。
2. ローカルPCからテンプレートファイルを選択します (ART形式のテンプレートがサポートされる)。
3. **開く**をクリックしてテンプレートをインポートします。

7.3.3 レポートを編集

レポートは、テンプレートと選択した画像から作成されます。オブジェクトの編集、レポートページの追加または削除、テキストプロパティのカスタマイズ、テンプレートの変更などが実行できます。

注意

表紙および概要ページのオブジェクトは、追加または削除することはできません。テーブルオブジェクトの内容ページの一部のみのみが編集できます。

レポート編集インターフェイスのナビゲーション

サムネイルの表示、オブジェクトの設定、テンプレートの変更などが実行できます。



図 7-15 レポート編集ページ

- ① : タスクリスト。タスクリストのコンテンツ（ビデオを除く）が、「ライブラリ」、「分析」、「レポート」の各ページで同期されます。
- ② : レポートの概要。レポートページのサムネイルにチェックマークを入れることができます。
- ③ : ツールバー。オブジェクトの追加、ヘッダーの設定、テキストプロパティの設定などを行うことができます。
- ④ : ページを管理します。新しいページの追加、ページの削除、レポート全体のテンプレートの変更を行うことができます。
- ⑤ : レポートオブジェクト。オブジェクトをドラッグして移動することができます。
- ⑥ : オブジェクトを編集します。オブジェクトのサイズ、タイプ、表示項目などが編集できます。
- ⑦ : レポートをエクスポートします。レポートをローカルPCにエクスポートすることができます。

ドキュメントプロパティの設定

ドキュメントプロパティはレポート全体に適用され、キー（固定）と対応値（カスタム）で構成されます。一般的なテーブルオブジェクトやレポート情報オブジェクトのセルを、特定接続点ドキュメントプロパティにリンクすることができます。ドキュメントプロパティを編集すると、同時に、ドキュメントプロパティにリンクされているセルのコンテンツが更新されます。

ツールバーで  をクリックし、「ドキュメントプロパティ」ページを開きますキーの値を入力します。

[OK]をクリックします。

ヘッダーの設定

種々の形式やコンテンツに、1個以上のヘッダーを設定できます。

1. ツールバーで  をクリックし、ヘッダー設定ウィンドウを開きます
2. 必要に応じて、左、中央、右のヘッダーにチェックマークを入れます。
3. ヘッダー形式として、画像またはテキストを選択し、適宜、画像を選択するかテキストを入力します。

注意

- 画像形式を選択したら、**新規追加**をクリックすると、ローカルPCから画像がインポートできます。
 - 表示されるヘッダーを、リアルタイムでプレビューすることができます。
4. **OK** をクリックしてヘッダーの設定を保存します。レポートに、設定されたヘッダーが表示されます。

注意

表紙にはヘッダーは適用されません。

オブジェクトの追加

ツールバーで、特定のオブジェクトアイコンをクリックします。

アイコン	オブジェクト
	一般的なテキスト
	カスタムテーブル
	サーマル
	ビジュアル
	ロゴ
	情報
	• 画像情報
	• デバイス情報
	• 環境情報
	• テキスト注釈

アイコン	オブジェクト
	<p>温度測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 測定 ● 画像パラメータ ● 測定パラメータ ● デルタ <hr/> <p> 注意</p> <p>各ページでは、1個までのデルタオブジェクトが許可されます。</p> <hr/> <p>温度分布グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度分布棒グラフ ● 温度分布線グラフ

 **注意**

表紙、概要ページ、付録ページには、オブジェクトを追加できません。

オブジェクトの移動/調整

レポートの中で、オブジェクトを移動したり調整することができます。

レポートでオブジェクトを選択します。以下の操作を実行できます：

- オブジェクトを、必要な位置までドラッグします。
- 画像オブジェクトの四隅をドラッグするとサイズが調整できます。テーブルオブジェクトの両辺をドラッグすると幅が調整できます。

注意

右側のオブジェクト設定パネルに、サイズの値を入力することもできます。

レポートオブジェクトのコピー/切り取り

レポート内の他の場所や他のソフトウェア（Word など）にレポートオブジェクトをコピーしたり、切り取ることができます。

レポート内のオブジェクトを右クリックして**切り取り/コピー**を選択するか、キーボードショートカット**Ctrl + C**または**Ctrl + X**を押すと、選択したオブジェクトをコピーまたは切り取ることができます。

注意

オブジェクトをコピーしたり切り取る場合、その形式も一緒にコピーまたは切り取られます。たとえば、テキストをコピーまたは切り取る場合はフォントサイズと配置も一緒にコピーまたは切り取られ、画像をコピーまたは切り取る場合は画像名も一緒にコピーまたは切り取られます。

オブジェクトの編集

レポートに含まれるオブジェクトは、選択するテンプレートによって異なります。対応するオブジェクトに、自動的に、選択した画像の関連情報が入力されます。リンクされたサーマル画像の変更、画像タイプの設定、テキストのカスタマイズなど、既存のオブジェクトを編集できます。

注意

オブジェクトがサーマル画像とリンクできる場合は、「サーマル画像のリンク」のドロップダウンリストで、サーマル画像番号を表示することができます。

レポート情報

レポート情報オブジェクトでは、アライメントモードの設定、フォントのスタイルと色の設定、テーブルコンテンツの設定などを行うことができます。

ステップ

注意

デフォルトでは、表紙にレポート情報オブジェクトが含まれています。このサイズを変更したり削除することはできません。

1. 表紙のレポート情報テーブルをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。

2.以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセル1個のフォントスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセル1個のフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
テキストを入力する	セルを選択し、右側の「リンクプロパティ」で なし を選択すると、セルをダブルクリックしてテキストを入力することができます。セルの中で改行するには、Alt + Enterを押します。
テキストプロパティのリンク	セルを選択し、右側の「プロパティのリンク」で テキストプロパティ を選択すると、セルに表示されるテキストプロパティが選択できます。

注意

テキストプロパティの設定の詳細については[ドキュメントプロパティの設定](#)を参照してください。

概要ページのテーブルオブジェクト

テーブルオブジェクトのフォントスタイルとアライメントは、概要ページで調整できます。テーブルでは、各ファイルにコメントを追加できます。

ステップ

- 1.概要ページで、コメントを追加したいテーブル全体またはセルを選択します。
- 2.以下の操作を実行することができます。

注意

- レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

- **ファイル名、キャプチャ日、キャプチャ時刻**の各コンテンツは自動的に生成されるので、編集できません。

操作	説明
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセル1個のフォントスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセル1個のフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
コメントの入力	コメントの下でセルを選択し、右側のメニューからテキストを入力します。

3. オプション: 概要ページを更新します。

- 1) 左側の概要ページのサムネイルを右クリックします
- 2) **更新**をクリックします

サーマル画像

「サーマル画像」オブジェクトに、自動的に分析タスクリストに追加された画像が表示されます。

ステップ

1. レポートでサーマル画像をクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	幅と高さに値を入力して、サーマル画像のサイズを調整します。幅と高さは一様にのみ変更できます。
タイプの選択	ドロップダウンリストで、サーマル画像のタイプを選択します。

- **リストされた放射測定画像**：測定対象物が正常な状態か否か不明な場合にキャプチャされたサーマル画像。**画像編集**で / をクリックすると、サーマル画像が追加/削除されます。
- **比較された放射測定画像**：測定対象物が正常な状態でキャプチャされたサーマル画像。**選択**で / をクリックすると、サーマル画像が追加/削除されます。

サーマル画像の削除/変更 画像サムネイルの上にカーソルを置き、**削除/選択**をクリックすると、サーマル画像が削除/変更されます。

 **注意**

オブジェクトが既にサーマル画像にリンクされている場合、リンクされているサーマル画像、もしくはサーマル画像にリンクされているオブジェクトを削除すると、リンクも削除されます。これは元に戻すことはできません。

表示項目 **温度スケール**にチェックマークを入れると、サーマル画像の右側にスケールバーが表示されます。
画像名にチェックマークを入れると、サーマル画像の下に画像名が表示されます。

メイン画像として設定 サーマル画像を右クリックし、**メイン画像として設定**を選択します。メイン画像として設定すると、プレビューできるように、左側に、現在のページのサムネイルとして、サーマル画像が表示されます。

ビジュアル画像

「ビジュアル画像」オブジェクトに、サーマル画像にリンクされたビジュアル画像と通常の画像が表示されます。

ステップ

1. レポートで画像をクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作

説明

サイズの設定

幅と高さに値を入力して、画像のサイズを調整します。

タイプの選択

ドロップダウンリストから画像のタイプを選択します。

- **自動選択**：オブジェクトに、自動的に、サーマル画像にリンクされた画像が挿入されます。
- **その他の画像**：ローカルPCから通常の写真を追加できます。**+** をクリックして画像を追加します。追加した画像にカーソルを置き、**x** をクリックして画像を削除します。
- **アライメントされたビジュアル画像**：このタイプを選択すると、リンクされたサーマル画像に対してアライメントされたビジュアル画像が、オブジェクトに自動的に入力されます。

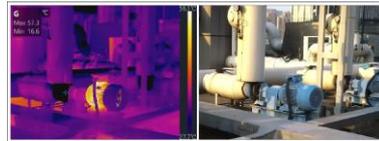


図 7-16 アライメントされたビジュアル画像

- **フルサイズのビジュアル画像**：このタイプを選択すると、リンクされたサーマル画像に対応するフルサイズのビジュアル画像が、オブジェクトに自動的に入力されます。



図 7-17 フルサイズのビジュアル画像

サーマル画像のリンク

ドロップダウンリストから、オブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。リンクされたサーマル画像が、オブジェクトに自動的に入力されます。

画像のアップロード

画像タイプとして**自動選択**を選択し、**サーマル画像のリンク**として**無**を選択した場合、オブジェクトをダブルクリックするとローカル画像ファイルをアップ

ロードできます。画像タイプとして**その他の画像**を選択した場合、「画像編集」の下の**追加**をクリックするか、オブジェクトをダブルクリックすると、ローカル画像ファイルをアップロードできます。

項目の表示

画像名をチェックすると、画像の下に画像名が表示されます。

画像情報

このオブジェクトには、画像名、解像度、画像サイズ、キャプチャ時刻が表示されます。

ステップ

1. レポートで画像情報オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作

説明

サイズの設定

必要に応じてテーブルの幅を入力します。

サーマル画像のリンク

ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の情報が入力されます。

フォントのスタイルの設定

テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。

フォントの色の設定

テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。

アライメントモードの選択

、、 を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。

項目の表示

必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

デバイス情報

このオブジェクトには、デバイスモデル、デバイスのシリアル番号、キャプチャ時刻などのキャプチャデバイスの情報が表示されます。

ステップ

1. レポートでデバイス情報オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像のデバイス情報が入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
項目の表示	必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

環境情報

このオブジェクトには、住所、デバイス名、天候などの測定オブジェクトの情報が表示されます。

ステップ

1. レポートで「環境情報」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の環境情報が入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
項目の表示	必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

画像パラメータ

このオブジェクトに、距離、湿度、大気温度など、グローバル画像のパラメータが表示されます。

ステップ

1. レポートで画像パラメータオブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。

サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像のグローバル画像のパラメータが入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
項目の表示	必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

測定パラメータ

このオブジェクトに、放射率や距離などの測定ツールのパラメータが表示されます。

ステップ

1. レポートで「測定パラメータ」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の測定ツールのパラメータが入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。

アライメントモードの選択    を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。

項目の表示 必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

測定

このオブジェクトには、グローバル画像のパラメータと、重大性、最高温度、最低温度、中心温度など測定ツールのパラメータの測定値が表示されます。

ステップ

1. レポートで「測定」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の測定結果が入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	   を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
項目の表示	必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

温度分布棒グラフ

このオブジェクトには、さらに詳しい分析が行えるように、リンクされたサーマル画像の温度分布棒グラフが表示されます。

ステップ

1. レポートで、「温度分布棒グラフ」のオブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の温度分布棒グラフが入力されます。
測定値のリンク	適用したい測定値を選択すると、オブジェクトに、自動的に、その測定値に対応する情報が入力されます。
バーの本数	バーの本数を入力するか、  または  をクリックして、バーの本数を増減します。

温度分布線グラフ

このオブジェクトには、さらに詳しい分析が行えるように、リンクされたサーマル画像の温度分布ポリライングラフが表示されます。

ステップ

1. レポートで、「温度分布ポリライングラフ」のオブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
 2. 以下の操作を実行することができます。
-

 **注意**

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作

説明

サイズの設定

必要に応じてテーブルの幅を入力します。

サーマル画像のリンク

ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトには、自動的に、リンクされたサーマル画像の温度分布ポリライングラフが入力されます。

測定値のリンク

適用したい測定値を選択すると、オブジェクトに、自動的に、その測定値に対応する情報が入力されます。

注意

- リンクされたサーマル画像を変更または削除すると、リンクされた測定値も変更されます。
- リンクできるのは線分測定値と多角線測定値のみです。

デルタ

このオブジェクトに、デルタ範囲と標準値（重大性の結果に基づく）のテーブルが表示されます。

ステップ

1. レポートで「デルタ」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像の重大性の結果が入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
測定値のリンク	適用したい測定値を選択すると、オブジェクトに、自動的に、その測定値に対応する情報が入力されます。
デルタ範囲の設定	デルタ範囲の名前と標準値を編集することができます。

テキスト注釈

このオブジェクトにテキスト注釈情報が表示されます。

始める前に

サーマル画像にテキスト注釈を追加する方法は、[テキスト注釈を追加する](#)の詳細を参照してください。

ステップ

1. レポートで「テキスト注釈」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
オブジェクトタイトルの編集	オブジェクトタイトル（デフォルトでは「テキスト注釈」）を編集することができます。

サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
サーマル画像のリンク	ドロップダウンリストから、このオブジェクトにリンクしたいサーマル画像を選択します。オブジェクトに、自動的に、リンクされたサーマル画像のテキスト注釈が入力されます。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
バーの本数	バーの本数を入力するか、  または  をクリックして、バーの本数を増減します。

一般的なテキスト

必要に応じて、このオブジェクトに、カスタマイズしたテキストが入力できます。

ステップ

1. レポートで「テキスト」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
テキストを入力する	オブジェクトをダブルクリックし、テキストを入力します。テキストオブジェクトの中で改行するには、Alt + Enterを押します。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセル1個のフォントスタイルを設定します。

フォントの色の設定	テーブル全体またはセル1個のフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
プロパティのリンク	<p>オブジェクトは、テキストまたは放射測定画像プロパティにリンクできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テキストプロパティのリンク： <ul style="list-style-type: none"> セルに表示したいプロパティ値を選択します。テキストプロパティの設定の詳細についてはドキュメントプロパティの設定を参照してください。 • 放射測定画像プロパティのリンク： <ul style="list-style-type: none"> リンクしたいサーマル画像とセルに表示したいプロパティを選択します。

注意

テキストプロパティまたは放射測定画像プロパティをリンクすると、以前に入力したテキストが消去され、表示されているプロパティ情報は編集できなくなります。

備考

注釈は、レポートに対応する情報を補助する目的で使用されます。

ステップ

- 1.このページで、備考テーブルをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
- 2.以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
オブジェクトタイトルの編集	オブジェクトのタイトルが編集できます。デフォルトでは 備考 が使用されます。

サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。
備考の入力	備考 の下でセルを選択し、右側のメニューからテキストを入力します。

一般テーブル

一般テーブルが挿入できます。このテーブルでは、サイズのカスタマイズ、行数と列数の編集、内容の設定などが行えます。

ステップ

1. レポートで「テーブル」オブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

注意

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

操作	説明
サイズの設定	必要に応じてテーブルの幅を入力します。
フォントのスタイルの設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントのスタイルを設定します。
フォントの色の設定	テーブル全体またはセルを選択し、そのフォントの色を設定します。
アライメントモードの選択	 、  、  を選択して、コンテンツを左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかに設定します。

行と列の設定

必要に応じて、行数と列数を入力します。

注意

- 20行・10列まで入力できます。
- セルを選択し、右クリックすると、行や列を挿入または削除できます。

項目の表示

必要に応じて、オブジェクトに表示したい項目にチェックマークを入れます。

テキストを入力する

セルを選択し、右側の「リンクプロパティ」で**なし**を選択すると、セルをダブルクリックしてテキストを入力することができます。セルの中で改行するには、Alt + Enterを押します。

プロパティのリンク

- セルを選択し、右側の**プロパティのリンク**で**テキストプロパティ**を選択すると、セルに表示したいテキストプロパティが選択できます。
- セルを選択し、右側の**プロパティのリンク**で**放射測定画像プロパティ**を選択すると、セルに表示したいサーマル画像とそのプロパティが選択できます。

ロゴ

ステップ

1. レポートでロゴオブジェクトをクリックします。
右側に、オブジェクト設定ペインが表示されます。
2. 以下の操作を実行することができます。

操作

説明

サイズの設定

必要に応じて、ロゴの幅と高さの値を入力します。幅と高さは一様にのみ変更できます。

ロゴの追加

追加をクリックして、ローカルPCから画像を追加します。

注意

- ロゴを追加した後で、追加した画像の上にカーソルを置き、**削除**または**選択**をクリックすると、ロゴを削除または変更できます。
- ロゴを削除または変更した場合、**リセット**をクリックすると、デフォルトのロゴに復元できます。

レポートで、同時に、設定のエフェクトをプレビューすることができます。

オブジェクトの削除

ステップ

1. 選択したオブジェクトを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - オブジェクトを選択し、そのオブジェクトを右クリックして、**オブジェクトの削除**を選択します。
 - オブジェクトを選択し、**コンテンツ** > **オブジェクトの削除**をクリックします。

ページの管理

レポートページを追加または削除したり、ページの順序を変更できます。

新しいページの追加

新しいページを追加するには、次のいずれかの操作を実行します。

注意

各レポートには、表紙、概要ページ、付録ページを除き、350ページまで追加できます。

- 左下のをクリックし、追加したいページのタイプを選択します。
- 左側でページのサムネイルを右クリックし、**新しいページ**を選択し、追加したいページのタイプを選択します。

ページ順序の変更

左側のページサムネイルのリストで、ページをドラッグすると、ページの順序が変更できます。

ページの削除

ステップ

1. 左側で削除したいサムネイルページを選択し、以下の操作を行うと、現在のページが削除されます。
 - サムネイルを右クリックし**ページの削除**を選択します。
 - 選択したページを削除するには、下の  をクリックします。
 - 「削除」キーを押します。
 - ページをすべて削除するには、上の  をクリックします。

テンプレートの保存

KEW Thermo Analysisに、カスタマイズしたページをテンプレートとして保存したり、後で使用できるように、ローカルPCにテンプレートとしてエクスポートすることができます。

テンプレートとして保存

「テンプレートの選択」ウィンドウのコンテンツページに保存されているすべてのテンプレートが表示されます。

ステップ

注意

全部で16個のテンプレートが保存できます。

1. ページを右クリックし、**テンプレートとして保存**を選択します。
2. カスタマイズされたテンプレートの名前を設定します。
3. **保存**をクリックすると、選択したページが、テンプレートとして保存されます。

注意

- テンプレートとして、コンテンツと空白ページのみが保存できます。
- テンプレートとしてページを保存する場合、サーマル画像オブジェクトに写真は不要です。
- 既存のテンプレートを選択する場合、右クリックで表示されるショートカットから、カスタマイズされたテンプレートの名前を変更したり、削除することができます。

エクスポートテンプレート

左側で選択したページを右クリックし、**テンプレートのエクスポート**を選択して、ローカルPCにテンプレートファイルをエクスポートします。KEW Thermo Analysisにテンプレートファイルをインポートする方法の詳細は[テンプレートのインポート](#)を参照してください。

注意

- テンプレートとしてコンテンツページのみがエクスポートできます。
- テンプレートとしてページをエクスポートする場合、サーマル画像オブジェクトに写真は不要です。

テンプレートの変更

テンプレートを通じてレンダリングされたレポートをプレビューしたり、選択したページまたは全ページのテンプレートを変更できます。

注意

表紙、概要ページ、付録ページのテンプレートは変更できません。

選択したページのテンプレートを変更する

ステップ

1. ページを右クリックします。
2. **テンプレートの変更**を選択します。
3. 現在のテンプレートと置き換えたいテンプレートを選択します。
4. **[保存]**をクリックします。

全ページのテンプレートを変更する

下の  をクリックし、全ページのテンプレートと置き換えたいテンプレートを、選択またはインポートします。

7.3.4 レポートをエクスポート

レポートファイルを編集してプレビューした後で、ローカルPCにレポートをエクスポートして、温度測定統計を比較・分析・要約することができます。レポートファイル名を変更する、保存場所を変更する、PDFまた

は編集可能なODTファイルとしてレポートをエクスポートする、エクスポートされたファイルのフォルダを開くなどの操作が実行できます。

1. レポート編集ページの右上で、**レポートのエクスポート**をクリックします。
2. ファイル形式としてODTまたはPDFを選択し、ファイル名を編集し、保存場所を設定します。
3. **OK**をクリックしてレポートをエクスポートします。

注意

- エクスポート成功のプロンプトで、**フォルダを開く**をクリックすると、エクスポートされたレポートをローカルPCに表示することができます。**OK**をクリックすると、レポート編集ページを開いたままにすることができます。
- エクスポートしたODTファイルは、Microsoft Wordで編集できます。

7.4 ビデオ分析

※KEW 5531 / KEW 5532W / KEW 5532WAには、ビデオ撮影機能がないため使用できません。

7.5 ライブ分析

上のタブから「**ライブ**」を選択すると、サーモグラフィカメラを接続して、ライブビューを開始できます。

ライブビューでは、画像をキャプチャしたり、録画保存することができます。

チャプター8 ライブ

上のタブから「ライブ」を選択すると、サーモグラフィカメラを接続して、ライブビューを開始できます。ライブビューでは、画像をキャプチャしたり、録画保存することができます。

注意

- KEW 5532WAのみ使用できます。

8.1 デバイス（サーモグラフィカメラ）を接続

1. 付属のUSBケーブルにてPCとデバイスを接続します。
2. デバイスの画面に“USBドライブ”と“USBキャスト画面”の選択肢が表示されますので“USBキャスト画面”を選択してください。
3. デバイスが検出されます。をクリックしてデバイスを選択し、**接続**をクリックします。接続されると、ライブビューが表示されます。

注意

ライブビュー中に他のタブに切り替えるとライブビューが停止します。再度ライブのタブに戻ると、自動的にデバイスが接続されライブビューが表示されます。

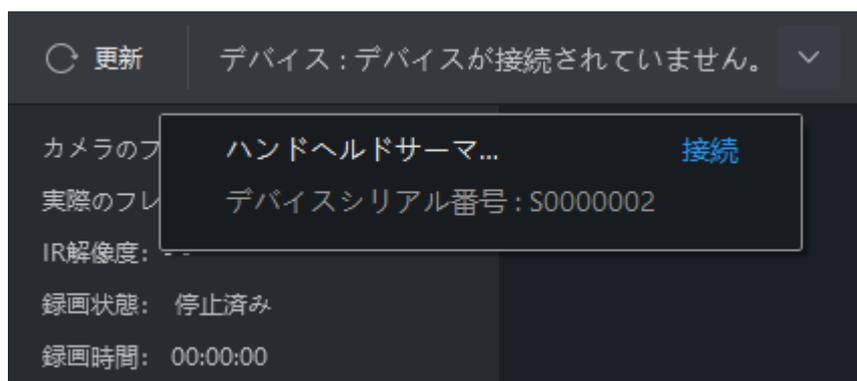


図 8-1 デバイスを接続

デバイス：デバイスが接続されていません。と表示された場合  **更新** をクリックし、接続できるデバイスのリストを更新します。

 **切断** をクリックしてデバイスの接続を切断すると、ライブビューが停止します。

8.2 「ライブ」タブのナビゲーション



図 8-2 「ライブ」タブ

①：測定ツール、時間-温度曲線、温度分布グラフ、画像キャプチャ、画像回転などの分析ツールを含むツールバー。測定ツールの詳細については7.2.2項の**温度測定ツールの追加**を参照してください。測定ツールの削除では、ツールを右クリックして削除するか、他の空白エリアを右クリックしてすべてのツールを消去することしかできません。

②：Super IR機能を有効にすると、ライブビューの画質がさらに明瞭になります。

③：パレットと画像表示モード、ライブビデオの解像度（元の解像度は接続先のデバイスで設定されている解像度）、配色を選択します。パレットとフォーカスモードの設定の詳細については、7.2.5項の**パレット、フォーカス、色アラームを設定する、配色**を参照してください。

④：デバイスの接続、接続デバイスリストの更新を行います。

⑤：ライブビューの録画の開始・停止、ライブビューの画面キャプチャ、デバイスの温度測定範囲の変更ができます。※5532WAではデバイスのフレームレートの表示と変更はできません。

⑥：ライブビュー画面が表示されます。画面内に測定ツールを設定することで、温度分析の項目を追加できます。

⑦：「レベルとスパン」を調整すると、温度スケールが変化します。レベルとスパンの詳細については7.2.6項のレベルとスパンを参照してください。

- 温度スケール上の「自動/手動」モードを切り替えれます、または温度スケールの両端にある  **自動** /  **手動** をクリックすることで、温度スケールの上限値・下限値についてそれぞれ自動/手動を切り替えることができます。(温度スケールの両端が  /  の場合、自動/手動モードと同じになります。それ以外の場合は半自動モードと同様に動作します)。
-  **温度スケールを反転する** をクリックすると、温度スケールとパレットが反転できます (この機能は、「フォーカスモードパレット」と「カラーアラーム」では使用できません)。
- イメージングアルゴリズムが**リニア**の場合のみ、温度スケールに目盛が表示されます。

⑧：測定結果が追加されます、測定ツールにて追加した測定項目はこのリストに表示が追加されま

す。
 をクリックすることで、温度分析の表示・非表示を切り替えます。温度測定パラメータを設定し (気温と湿度の値はデバイスの値と同じであるため、編集できません)。

8.3 温度分布グラフ/時間-温度曲線を表示する

ライブビュー中に、ツールバーのをクリックすることで、リアルタイムの温度分布グラフと時間-温度曲線を表示できます。

温度分布グラフの有効化の詳細については[温度分布グラフを表示する](#)を参照してください。

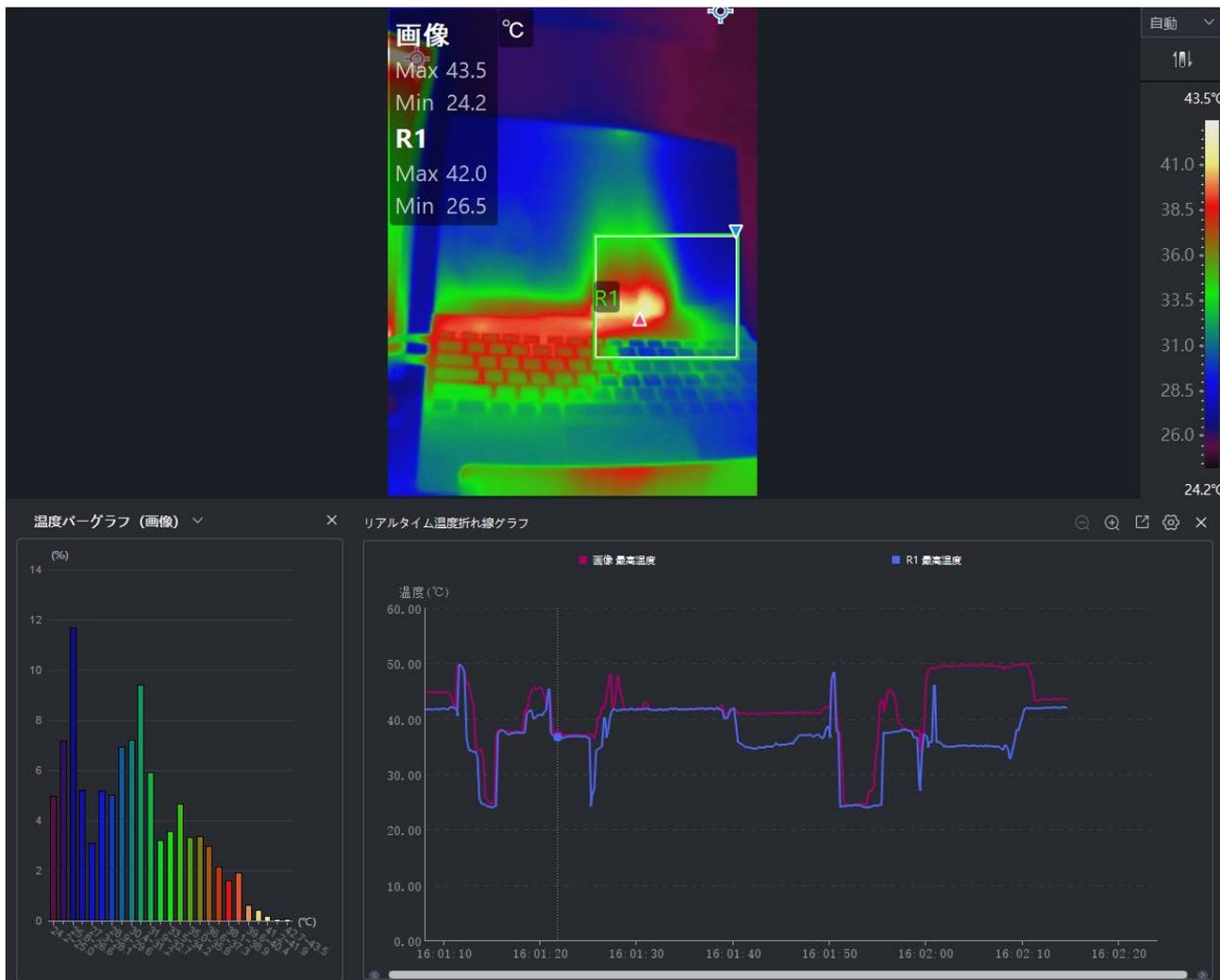


図 8-3 温度分布グラフ/時間-温度曲線

8.3.1 温度曲線の有効化/無効化

最長6時間までの温度曲線データが表示できます。

ステップ

注意

- 曲線設定の詳細についてはエラー! 参照元が見つかりません。を参照してください。
- 曲線データが上限に達した場合は、曲線を再度開いてデータをクリアすると、新しい曲線が描画されます。

1. ツールバーで  をクリックして、温度曲線を有効にします。

この曲線は、ライブビューウィンドウの下に表示されます。

2. (測定ツールが設定されていない場合) 温度曲線の上にカーソルを置くと、画像上に、各時刻の温度が表示されます。

注意

- (測定ツールが設定されている場合) 画像で測定値を選択すると、この測定値の曲線が表示されます。
- 曲線の下にスライドをドラッグすると、履歴データが表示されます。
- マウスホイールをスクロール、または   をクリックすることで、曲線を拡大/縮小することができます。

3. オプション: もう一度  をクリックするか、曲線の右上の  をクリックすると、曲線が閉じます。

注意

過去の曲線データは消去されます。次回曲線を開くと、新しい曲線が作成されます。

8.3.2 最高/最低/平均のエクスポート

すべてのフレームの最高/最低/平均温度、またはCSVファイル内の測定値をエクスポートして、さらに詳しく分析することができます。

ステップ

1. 曲線の右上の  をクリックします。

2. ファイル名を作成し、ファイルの場所を選択します。OKをクリックすると、ファイルがCSV形式でエクスポートされます。

8.4 ライブビュー画像をキャプチャする

ライブビュー中に画像をキャプチャして、ローカルPCに保存できます。

左の  をクリックすると、画像がキャプチャされます。キャプチャされた画像は、デフォルトの保存パスに保存されます。  > **場所**に移動します。**キャプチャされた画像**で、デフォルトの場所を表示して、必要に応じて編集することができます。

注意

キャプチャされた画像の解像度は、デバイスの解像度によって決定されます。

8.4.1 画像に重ねて表示される情報の設定

画像をキャプチャする際に、画像に重ねて表示したい情報をカスタマイズすることができます。重ねて表示される情報は、クライアント経由でキャプチャされ保存された画像にのみ表示できます。

ステップ

1. 右上で  > **オーバーレイ**をクリックします。
2. **オーバーレイの有効化**を有効にするデフォルトでは、この機能は無効になっています。
3. キャプチャした画像に表示したい情報に、チェックマークを入れます。右側でエフェクトがプレビューできます。
4. **[保存]**をクリックします。



Quality and reliability is our tradition

KYORITSU

更新日付：2026/2/16